

「民間と市場の力を活かした防災力向上に関する専門調査会」
防災まちづくりワーキング（第三回）

議 事 次 第

日時：平成17年4月21日（木）

14：45～16：45

場所：都市センターホテル

1．開 会

2．議 事

（1）静岡市大岩町視察報告

（2）防災フェアにおける「全国防災まちづくりフォーラム（仮称）」
について

（3）防災まちづくりポータルサイト構築の方向について

（4）その他

3．意見交換

4．閉会

（配布資料）

資料1：静岡市大岩町視察報告

資料2：防災フェアにおける「全国防災まちづくりフォーラム（仮称）」

資料3：防災まちづくりポータルサイト構築の方向について

資料4：防災ポータルサイトの出力イメージ

資料5：今後の調査スケジュール

平成17年4月21日

民間と市場の力を活かした防災力向上に関する専門調査会

防災まちづくりワーキング

委員名簿

座長	伊藤 滋	財団法人都市防災研究所 会長
	青山 佳世	フリー・アナウンサー
	井出 隆雄	ジャーナリスト
	井野 盛夫	富士常葉大学環境防災学部教授
	大国 道夫	大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進 協議会（三菱地所株式会社 ビル事業本部 都市計画事業室長）
	加藤 孝明	東京大学都市工学科助手
	坂本 仁一	(社)日本損害保険協会 業務企画部企画・安全 技術グループ
	須永 淑子	NPO法人江東区の水辺に親しむ会 理事長
	田畑日出男	東京商工会議所コミュニティ再生委員長
	富永 一夫	NPOフュージョン長池 理事長
	中村 陽一	立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科教授
	松岡 勝博	那須大学 教授
	安井潤一郎	全国商店街震災対策連絡協議 理事長 (早稲田商店会長)
	山口ひろこ	イゴス環境・色彩研究所 所長

平成17年4月21日

民間と市場の力を活かした防災力向上に関する専門調査会

防災まちづくりワーキング

第3回出席者名簿

座長 伊藤 滋	財団法人都市防災研究所 会長
青山 佳世	フリーアナウンサー
井出 隆雄	ジャーナリスト
大国 道夫	大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会 (三菱地所株式会社ビル事業本部都市計画事業室長)
加藤 孝明	東京大学都市工学科助手
坂本 仁一	(社)日本損害保険協会業務企画部企画・安全技術グループ
須永 俣子	NPO法人江東区の水辺に親しむ会 理事長
田畑日出男	東京商工会議所コミュニティ再生委員長
富永 一夫	NPOフュージョン長池 理事長
中村 陽一	立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科教授
安井潤一郎	全国商店街震災対策連絡協議会 理事長 (早稲田商店会長)
山口ひろこ	イゴス環境・色彩研究所 所長

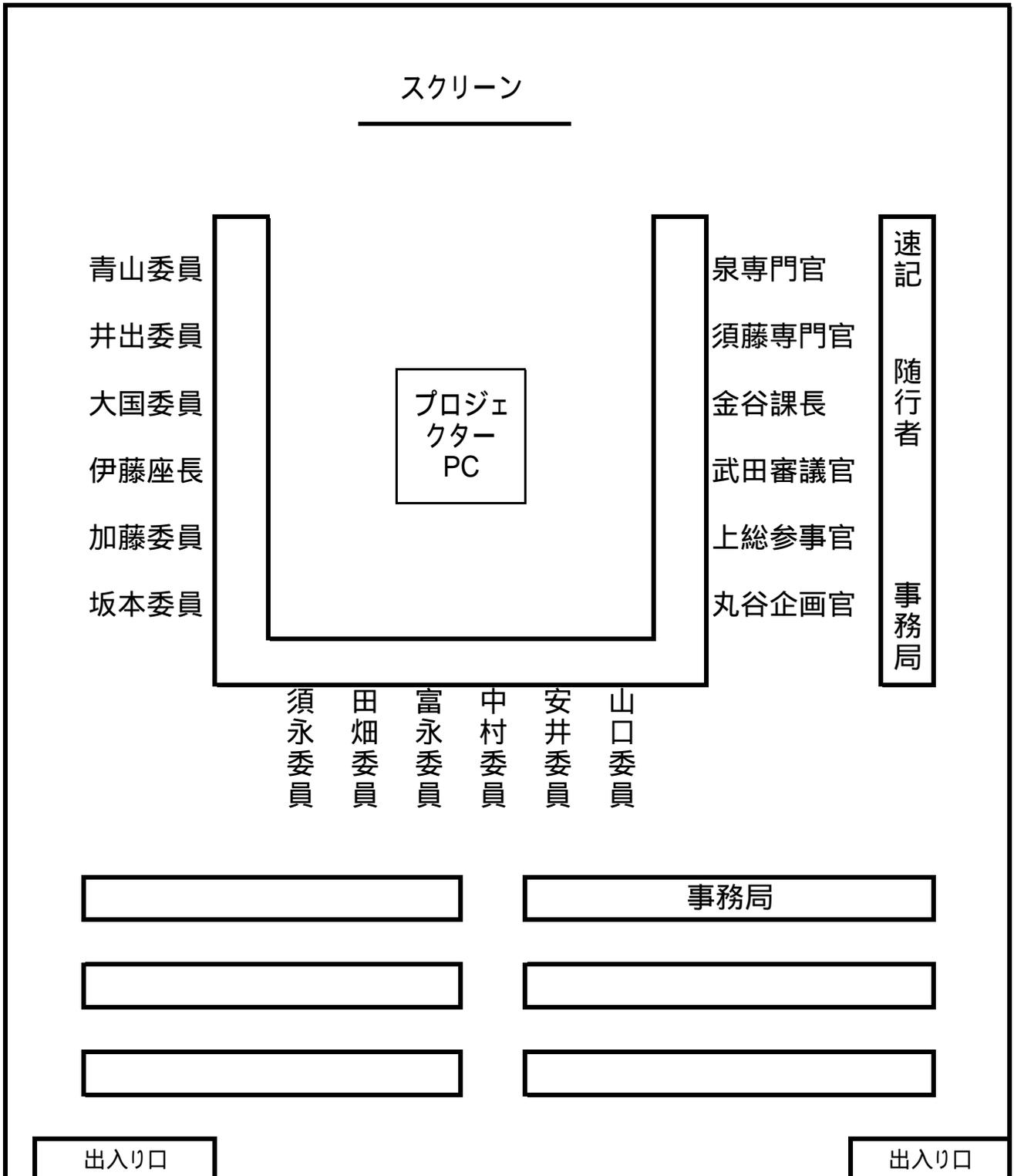
行政側

武田 文男	内閣府大臣官房審議官
上総 周平	内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(地震火山対策担当)
丸谷 浩明	内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(予防担当)付企画官
金谷 裕弘	総務省消防庁防災課長
泉 鉄男	国土交通省都市・地域整備局都市防災対策専門官
須藤 哲夫	国土交通省住宅局市街地建築課企画専門官

「民間と市場の力を活かした防災力向上に関する専門調査会」
防災まちづくりワーキング(第三回)座席表

日時:平成17年4月21日(木) 14:45 ~ 16:45

場所:都市センターホテル 5階 スバル



モデル地区ヒアリング報告～大岩 2 丁目自主防災会～

1. モデル地区の概要

- ・ 静岡県静岡市大岩 2 丁目は、昭和 30 年代後半から急速に宅地化が進んだ地域であり、閑静な住宅地となっている。
- ・ 840 世帯、人口 3,000 人を越える、静岡市安東学区の中でも最も大きな町内会である。転入者はほぼ全員町会に加わるが、単身赴任者は住民票を移さない者も多く、町会には加入していない。
- ・ 自主防災会へ防災委員 558 名が参加する、防災活動の活発な自主防災組織である。

図 1 大岩 2 丁目自主防災会の位置



【参考：ヒアリングについて】

- ・ 上記町会のリーダーとして活躍してこられた鈴木氏へのヒアリングを通じて、大岩 2 丁目自主防災会の活動状況を把握した。以下、ヒアリング結果を整理する。
- ・ 実施日時：2005 年 4 月 7 日（木）9：50～11：50
- ・ ヒアリング対象者：大岩 2 丁目町内会顧問 鈴木 昭二
参加者： 内閣府防災担当（丸谷、地下、木村、松田）
（財）都市防災研究所（守、鈴木、土肥） （敬称略）

2 . 防災まちづくり活動の経緯

- ・ 行政に手が廻らない活動を住民がやる主旨で昭和 56 年 5 月 1 日に、『大岩 2 丁目自主防災会』を設立した。
- ・ 防災訓練を核に、普段の町会活動との連携を図っていった。
- ・ 840 世帯あまりが在住し、世帯を持っている住人はほとんどが町会に加入している。
- ・ 初期の頃、子供会活動を活発に行っていたメンバーを中心に、防災訓練、福祉活動が広がっていった。規約（別紙 1：大岩二丁目自主防災会規約参照）を作り、それに沿った訓練を行い、集合訓練を中心に活動を開始した。



毛布と物干し竿で担架を作る訓練風景



消火器を正しく使うための訓練風景

3 . 大岩二丁目自主防災会の取り組み

- (1) 班毎に防災まちづくり活動を任せ、防災まちづくりに主体的に参加できる環境づくり
- ・ 多人数が参加する集合訓練は一般住民が一部の人の訓練を見ている、見学的な態度になりがちである。阪神・淡路大震災を契機として参加型訓練とするために、班別防災会を作り班毎に独立した訓練を行う方向で活動を行い、それまで参加者が 8 百人規模であったものを 1,200 人規模まで増やすことができた。
 - ・ 各班内では自主防災会での役割（救出、救護など）を担うメンバーが相互に協力して防災訓練を実施している。
 - ・ 班別訓練は、距離的に身近な場所で訓練が行われるため近隣住民の出席率が上昇し、マンションのような非定住型の若年住民の多い場所でも、近くの駐車場で訓練を実施することで多人数の参加者に訓練に参加することができた。

表 1 大岩二丁目自主防災会の組織構成

班別防災会	世帯数	防災委員
第 1 班防災会	9 5	4 5
第 2 班防災会	7 4	7 4
第 3 班防災会	9 4	6 1
第 4 班防災会	1 0 1	6 3
第 5 班防災会	8 9	6 5
第 6 班防災会	1 2 2	8 3

第7班防災会	110	61
第8班防災会	62	52
第9班防災会	83	54
計	830	558

(2) 『自主防災台帳』の作成

- ・ 防災まちづくり活動を進める上で、地域にどの程度災害時要援護者が居るかを把握することは大変に重要であり、行政からの要請を受けて、自主防災台帳の作成を行った。
- ・ 初年度は、プライバシー保護の観点から、自主防災台帳の作成に反対する人は居た。反対する人は参加しなくても良いというスタンスでできることから自主防災台帳の作成を進めていった。
- ・ 結果的に、地域内に様々な人材が居ることがわかり、緊急時に救護、医療など、専門的な技能を必要とする活動の担い手が見えた。
- ・ その後、毎年自主防災台帳の記入票を配り、記入、提出してもらい、台帳のメンテナンスを行っている。

図2 大岩2丁目自主防災会が配布した自主防災台帳

自主防災台帳

班 組

大岩2丁目自主防災会

住所	静岡市	電話	
----	-----	----	--

No.	氏名	続柄	生年月日 M.T.S.H	血液型	昼間の居場所 (平日)	緊急時自主防へ協力 可能○ 不可能×			防災上の参考事項、 役立つ資格、技能、 要介護者、介護理由等
						平日	休日	夜間	
1									
2									
3									
4									
5									

(記入上の注意)

- (1) 緊急時の自主防への協力……小学生以下は除く。
- (2) 防災上役立つ資格、技能など……(例) 元消防団員、班団員、保健婦、看護婦、元警察官、自衛官、整体師、栄養士、調理師、救急・水難救助資格者、アマチュア無線有資格者

(3) 災害弱者の救出、避難計画の作成

- ・ 防災台帳作成の結果、災害時に援護を必要するお年寄りや障害者が把握されたことから、向こう三軒両隣の助けあいを行う、住民のリスト化を行うとともに、隣組でどう助け合うかを相談することを行っている。

図3 「向こう三軒両隣援護活動」の記入表

「向こう三軒両隣援護活動」について

班 組		組長名		備 考
No.	氏 名	誰が避難・救出するか記入してください		
		昼 間	夜 間	
1				
2				
3				
4				
5				

(1) 避難・救出する人を2名～3名記入してください。

(2) 備考欄には、寝たきり・歩行困難・またはどんな障害を持っているかなどを記入してください。

(4) 地域安全の会（自警団）の結成

- ・ 災害時における初期火災の発見、連絡、消火、または盗難防止など、住民の力で行うため「大岩2丁目地域安全の会」を結成し、地震対策のグループ、防犯対策のグループ、防火対策のグループに分かれて、活動を実施している。

地震対策の活動内容

- ・ 市防災課との連絡、防災用具のアンケート、使用できる家庭井戸の調査、家具転倒防止のアンケート、消火器の有無と設置場所の調査

防犯対策の活動内容

- ・ 安東交番との連絡、痴漢、悪質な訪問販売などの連絡、自転車の盗難防止、不法駐輪、放置自転車の連絡

防火対策

- ・消防署との連絡、消火栓の調査、防災週間における子どもの作文・図画、町内巡回、火の用心

(5)「自主防災会」とボランティア活動を組み合わせた組織づくり

- ・ ボランティア活動を通じて、人と人とのつながりを持ち、災害時にはボランティア活動を担う組織がそのまま自主防災会に移行できるよう、自主防災会及び、大岩2丁目福祉協会の組織の見直しを行った。
- ・ 自主防災会は表3に示すように、自主防災台帳の作成で把握された、町内の人材活用を前提に、情報班、救出班、救護班、医療班、輸送班、物資班、消火班の7つの班に分けた。
- ・ 福祉活動と連携した取り組みを整理すると、以下のようである。

温泉の会 = 消火班

手足の不自由なお年寄りのいるお宅に梅ヶ島金山温泉よりトラック2台で、約3.5トンの源泉を運び、各家庭のお風呂に直接給湯している。

町内にたまたま梅ヶ島金山温泉の関係者が居たことから、温泉の無料提供を受け、福祉活動を実施している。偶数月の第一日曜日午前8時半から午後4時半までをかけて運搬、給湯を行っている。休日に多くの時間を割く温泉宅配活動は無償のボランティアでは長続きしないことから、有償で活動を行ってもらっており、その費用は町会費の中から出す形となっている。

車で送る会 = 輸送班

足腰の悪いお年寄りの方々が朝病院に行く時に、車で送るボランティア活動を行っている。

福祉会 = 炊き出し班

70才以上の一人暮らし老人と80才以上2人暮らし老人に毎月第3木曜日に給食サービスを行っている。材料費の実費は町会費から負担する形になっている。

こそくり会 = 救出班

お年寄りのお宅で、「戸が動きにくい」、「棚を作りたい」、「タンスが倒れないように止めて欲しい」といった要望を受けて、簡単な修理を行うなどの活動を行っている。

表2 自主防災会とボランティア活動の組織の組み合わせ

No.	自主防災会での活動担当	ボランティア活動グループの名称	参加者の特徴・ボランティア活動の内容
1	情報班	アマチュア無線の会 バイクの会	アマチュア無線の有資格者 バイク、オートバイなどの所有者
2	救出班	こそくり会	大工、左官、電気、木工、塗装等建築関係で組織する。老人宅の簡単な修理等のボランティアを実施
3	救護班	訪問看護	看護婦、保健婦の有資格者。寝たきり、一人暮らしの老人のお宅を訪問、血圧測定・健康相談をする

4	医療班	訪問医療	医師の有資格者（内科、外科、整形外科、歯科）
5	輸送班	車で送る会	老人が朝病院などに行く時に車で送るボランティア
6	物資班	福社会	毎月第 木曜日に一人暮らし老人、80 才以上 2 人暮らし老人に給食宅配サービスのボランティア
7	消火班	温泉の会	偶数月第 1 日曜日に体の不自由なお年寄りのいるお宅に温泉宅配サービスを実施

表3 自主防災台帳により把握された有資格者の人数

資格内容	人数
アマチュア無線有資格者	29 名
看護婦、保健婦有資格者	18 名
医師、薬剤師	9 名

(6) 防災訓練参加を促すため、参加して楽しくなるような工夫を

- ・ 防災訓練は決まりきったことを繰り返すことで、訓練参加者が飽きてしまうことも多い。このため、参加者を飽きさせない、参加して楽しくなる工夫も必要である。
- ・ 具体的には、救助犬協会から救助犬を呼んだところ非常に評判が良かった。
- ・ また、中学校で行った防災訓練では県警のレスキュー隊を呼び、バイクが障害物を越えてジャンプする実演を行った。更に、4階からの避難訓練の際、救助袋の使用も児童には人气的であった。



防災訓練で倒壊した家屋から救助する救助犬

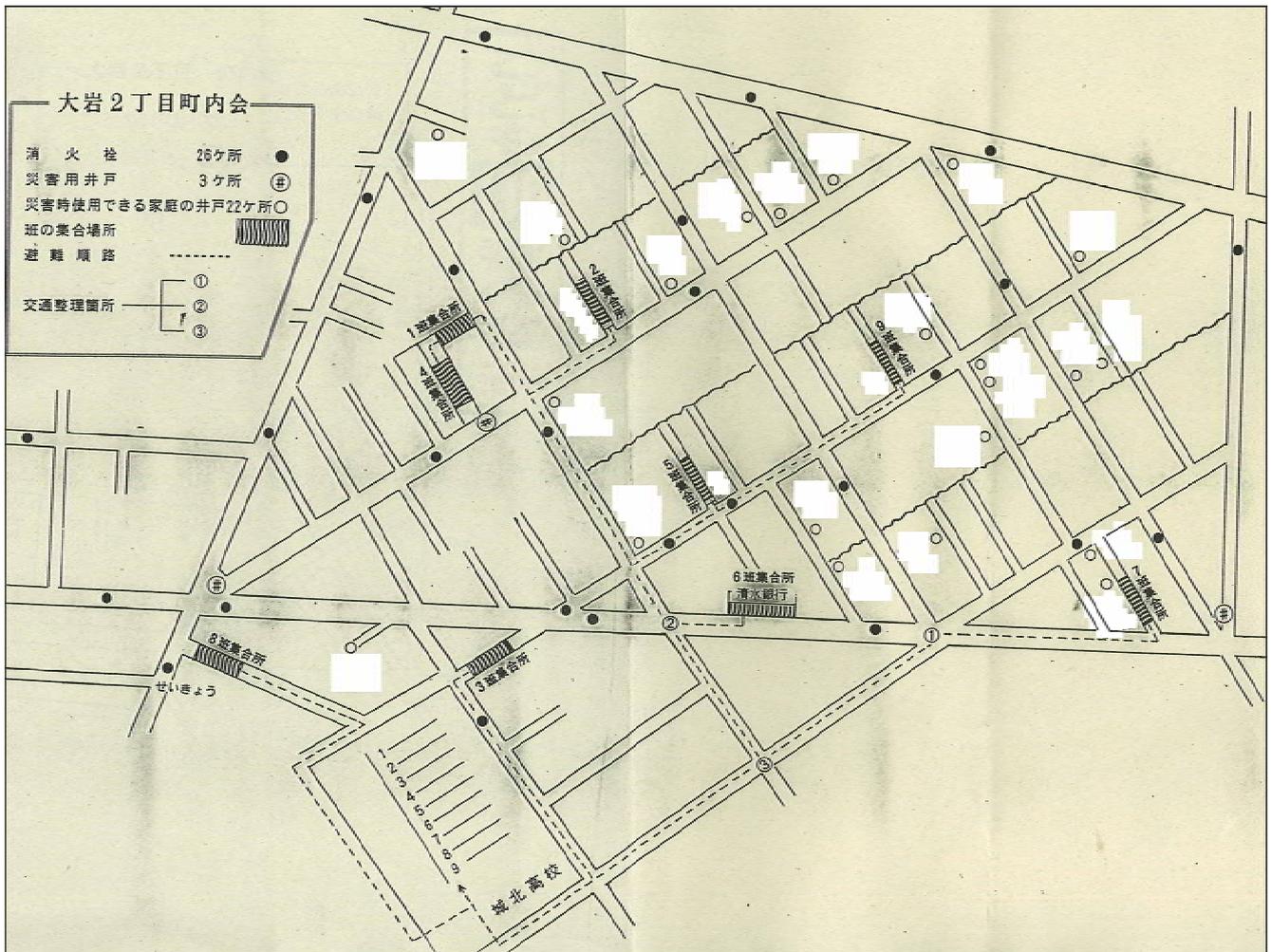


小中学生を対象した三角巾の講習会

(7) 多様な防災施設の整備、防災グッズ等の備蓄

- ・ 木造家屋が多いこともあり、災害としては火災への対応を重視しており、各家庭に消火器の購入を要請している。また、130本の消火器を町内に設置しており、2～3軒に一本消火器が置いてある。これらの消火器は、5年間で2本盗まれ、1本にいたずらされただけである。
- ・ また、町会には2台可搬ポンプがあり、(1台は所有、1台は貸借) 災害用の井戸が3箇所、いずれも水量は豊富である。また一般家庭の井戸で災害用に使用できる井戸は22箇所ある。
- ・ 避難所生活で、要介護者のプライバシーの保護を図るため、ダンボールによる間仕切りをする装置を20組分購入し準備している。
- ・ 更に、町内の住民全員に炊き出しが可能なように、炊き出し用の釜の確保を図るとともに、町内会として非常時の食糧供出について町内の米屋・スーパーと協定を結んでいる。

図4 大岩2丁目町内での消火栓等配置図



(8) 今後、防災まちづくりを進めていく上での課題

家庭の自助努力強化

- ・ 今後、更に充実されるべきことは各家庭の防災対応力である。ガラス飛散防止フィルム、耐震診断、耐震補修、最低3日分水と食料の備蓄などの自助努力が必要であり、アンケート調査などを通じて、意識啓発に努めている。
- ・ なお、耐震診断は無償の一方で、耐震補修にあたって県から30万円の助成制度注)があるが、かなりレベルの高い補修を行うことが要件となっており、改修費用が大きくなり、実態として助成制度を活用することが困難な状況である。

地域間相互交流による防災まちづくりの知恵の共有

- ・ 静岡県下に現在6000余りの町会があるが、その三分の二は訓練をやってはいない。また、静岡市内でも自主防災組織が無い町内会もある。
- ・ 今後、訓練活動を普及するためには個人表彰や団体表彰を受けた人々を集め、組織化し訓練を進めていくが必要であると感じている。
- ・ その上で、交流会で得た他の地域のアイデアをすぐに実行することが、活動の活性化に必要であり、大岩2丁目自主防災会での活動は他の地域の知恵を借りて行ったところも多い。

小中学校における防災対応施設の充実化

- ・ 避難所としては、学校施設を活用することになる。避難所運営も考慮に入れ、例えば、防災備品としてバケツを50個準備し、避難所生活者がトイレなどを活用する時の雑用水運搬に活用できるように準備している。
- ・ 避難所運営は、食料と水とトイレがあればできる。例えば、中学校に非常時に炊き出しを行うスペースを確保しておくことなどを通じて、小中学校と地域と結びつきの中で、防災対応力を強くしていくことも考えてみてはどうか。

注) 静岡県ではプロジェクト「TOUKAI(東海・倒壊)-0」事業の一環として、個人木造住宅耐震性強化のための支援事業を実施している。

1981年以前に建てられた個人用木造住宅の無料耐震診断

耐震診断で補修が必要になった場合、一棟当たり上限三十万円の助成

建て替えに対する融資

4. 大岩町2丁目自主防災会の活動から学ぶ点

- (1) 班(百世帯規模)ベースで防災訓練が行われ、地区レベルにリーダーの活動ノウハウが継承されている。
- ・防災訓練は、自主防災会全体として大枠を決めるだけで、訓練の実質的な展開は、各班に任されている。
 - ・従来の大規模な防災訓練では、見学するだけで実際に役立つ防災の体験にはなっていないことが多い。このため、百世帯規模の班レベルまで防災訓練の規模を小さくして、各班独自の防災訓練を行っている。
 - ・その結果、各班の創意工夫が自由に行われ、(例えば、炊き出しの時に、熾した火を使った焼き芋を作るなど)結果的に、町会長にリーダーシップに依存するのではなく、地区レベルで防災まちづくり活動の担い手が育っており、防災を担う人づくりに成功している。
- (2) 平常時のボランティア活動と防災活動の連携化
- ・大工等、建築関係の技能を持つ住民が、高齢者住宅の一部補修を行う、医者などの参加する医療班が町内在住の高齢者の健康診断を行う、消火班が温泉の宅配サービスを行うというように、平常時のボランティア活動と防災活動を連携化させることで、自主防災会への参加者が、町内住民の20%近くにまで達する、町内ぐるみの防災活動となっている。
 - ・平常時のボランティア活動を、防災活動と連携化はさせていく取り組みに注目すべきである。
- (3) 町会予算の中に自主防災組織の予算が組まれている。
- ・大岩2丁目自主防災会の場合、自治会の予算枠として、防災活動の予算枠が確保されており、その中から温泉宅配サービスの活動費や、炊き出し用の材料費などが手当てされている。
 - ・経年的に防災まちづくり活動を行うためには、一定の活動費用を確保できるための仕組みが不可欠であり、防災活動が町会活動の一環として位置づけられ、町会において手当ての支給や実費を負担する仕掛けが組み込まれていることに注目すべきである。
- (4) 自治会の人事と並行して防災担当役職が決められている。
- ・自治会の人事とは別個に並行して、自主防災会の役職が決められており、防災活動の積み重ねを踏まえ、リーダーシップをとれる人材が、各班で選ばれる仕組みとなっている。
 - ・このため、自治会人事と切り離して、各班ごとに、顔の見える人間関係の中で、防災まちづくりの担い手に参加してもらうことが可能となっている。

(別紙1：大岩二丁目自主防災会規約)

大岩二丁目自主防災会規約

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は大岩二丁目自主防災会（以下、「本会」という。）と称する。

(組 織)

第2条 本会は大岩二丁目町内会にある世帯をもって構成する。

(事務所)

第3条 本会の事務所は会長宅に置く。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第4条 本会は、地域住民の防災意識の高揚をはかると共に、地震等の災害防止に努める。

(事 業)

第5条 本会は、前条の目的達成のため次の事業を行う。

- (1) 官庁及び上部災害対策機関との連絡調整に関する事。
- (2) 自主防災組織の編成に関する事。
- (3) 情報及び広報に関する事。
- (4) 住民の教育訓練に関する事。
- (5) 防災資機材の調達及び保管に関する事。

第3章 役 員

(役 員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 本部長 1名
- (2) 副本部長 1名
- (3) 防災委員 2名

2. 役員は、会員の互選とする。

3. 役員の任期は防災委員は2年、他は1年とする。ただし、再任することができる。

4. 必要に応じ、役員は町内会役員と兼務することができる。

(役員の仕事)

第7条 本部長は、本会を代表し、会務を総括する。

2. 副本部長は、本部長を補佐し本部長に事故あるときはその職務を代行する。

3. 防災委員は、関係機関との連絡及び会務の運営の任に当たる。

第4章 会 議

(会 議)

第8条 会議は次の事項を審議する。

- (1) 規則の改正に関する事。
- (2) 防災計画書の作成及び改正に関する事。
- (3) 事業計画に関する事。
- (4) その他会議に関する事。

第9条 地震等の災害の発生に備え、情報の伝達、初期消火等が円滑に行われるため、次の訓練を実施するものとする。

- (1) 情報伝達訓練
- (2) 初期消火訓練
- (3) 避難誘導訓練
- (4) 炊き出し訓練
- (5) 救出訓練
- (6) 救護訓練
- (7) トリアージ訓練
- (8) 警備訓練

一市街地発災型防災訓練一

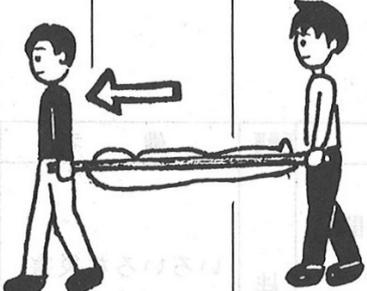
大岩2丁目自主防災会

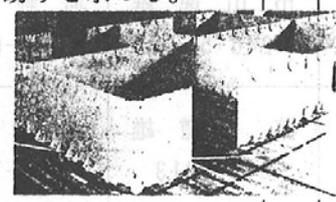
1. 日 時 平成15年11月16日(日)
2. 場 所 町内9ヶ所が訓練会場となる。
3. 訓練内容 班別市街地発災型防災訓練
 - 訓練場所はあなたが住んでいる街です。
「どこで火災が発生するのか」「建物の倒壊はどこか」「けが人は」等は訓練開始までわかりません。
 - 発災の合図はメガホンのサイレンです。
 - 発煙筒の煙が見えたら、消火器やバケツで初期消火をします。
 - けが人がいたら応急手当をして、町内に設置した救護所に搬送します。
 - 倒壊家屋があれば皆で協力して建物の下敷きになった人を救助します。
 - 通行障害のパネルが置いてある道は通れませんので迂回して下さい。

～訓練実施要領～

時間	訓練	内容	要 領	活動班	備 考
9:00	情報伝達 訓練	地震発生 1分後	<p>メガホンのサイレンを合図に訓練を開始</p> <p>火の元、家庭内の安全を確かめて訓練会場へ「つまり外に出て下さい」。</p> <p>大声で住民に知らせる</p> <p>消火作業、救出・救護に必要な人員、資機材の確保をする。</p>	<p>情 報 班</p>	<p>いろいろな災害に に 出 会 う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災の発生 ・けが人 ・家屋の倒壊



時間	訓練	内容	要領	活動班	備考
9:05	初期消火訓練	火災の発生 発煙筒をもって火災とする 	「消火器を集めろ」 必ず声を出し合う。 ●3分以内に5本の消火器を集める。 ●必要な消火器が集まったら消火班々長の指示に従う。 ●必要な消火器が集まったらホースを構えて、声を出して20数える。 ●数え終わったら手を上げて、消火したという意思表示をする。 ●消火器がない場合はバケツ2杯で消火器1本とする。	消火班	ビニール袋に水を入れて、投げて火を消すのもよい。 消火器は放射しない。 消火器・バケツ等は町内会又は自宅のものを使用する。
9:15	救出訓練	けが人の応急処置をする。 	「けが人がいるぞー」と大声を出して、助けを求める。 「必要な人員を集める」 「安全に」 歩行不能な場合…担架・車いすで救護所へ運ぶ。 動けるようであれば介添えして救護所へつれていく。	救出班	訓練開始前にけが人を指定の位置に配置する。 タンカ 車いす 
	警備訓練	班内のパトロール パトロール路線の決定	2人1組で行う。(徒歩、自転車) 不審者の発見 火災の発見 消火 パトロール実施結果…報告	救護班	ヘルメット 腕章 身分証明書 筆記具
	トリアージ訓練	負傷者の応急処置をする。	治療の救急度に応じてケガ人を処置する。 第1救護所…戸田書店駐車場 ●軽症者については各班防災本部で処置する。 ●重症患者については安東小学校へ搬送する。 ●各班より救護所に搬送する。	医療班	搬送 救急車 識別表 車、リヤカー 車いす

時間	訓練	内容	要 領	活動班	備 考
10:00	体験訓練	けが人の 応急処置 小型動力 ポンプに よる放水 訓練	消防救急隊による応急処置訓練 場所…中小企業金融公庫静岡寮 駐車場（予定） 小型動力ポンプの取扱い方について 記念碑…………… 1. 3. 8班 大和銀行横…… 2. 4. 5班 杉山理容店北側… 6. 7. 9班	救 護 班 消 火 班	三角巾 …東消防署 小型動力ポンプ 3台 大岩2丁目1台 安東北部 1台 大岩本町1区 1台
10:50 11:30	 家屋の倒 壊による 救助訓練 簡易間仕切り マジックパネル	阪神淡路大震災でもこれによって多くの 方が犠牲になりました。 倒壊家屋の下にいる人を救助犬により発 見する。 救助に必要な身近かな道具と人員を確保 するため、まわりに助けを求める。 集団避難生活では 弱者のプライバシー が守られる 簡易間仕切り組立	救 出 班	木材、ロープ 災害救助犬協会 の協力 ジャッキ・ボール 人員確保 4. 5 畳 	
11:40	講 評	各班毎に防災委員長より			
11:50	炊き出し 訓練	炊き出し 準備 参加者に 給食を 配布する	炊き出しの道具 食糧の運搬 8:30 1. 炊き出し訓練 9:00～11:00 2. 給食、ウーロン茶の配布 3. 終了後、会長宅まで運ぶ。	炊 き 出 し 班	会長宅⇔各班 釜、米、まき はし、コンテナ その他

政府の中央防災会議の下部組織として「防災まちづくり」を研究している「民間と市場の力をいかにした防災力向上に関する専門調査

会」のメンバーが7日、災害に強いまちづくりを目指した取り組みが全国的に注目される静岡県葵区大岩2丁目自主防災会を視察した。

中央防災会議調査会が視察

台帳づくりに注目

先進的、自主防 静岡・大岩2丁目



内閣府防災統括官付の丸谷浩明企画官らメンバー18人が、同自主防の鈴木昭二前会長（左）を訪問した。

ね、自主防災台帳や災害弱者救出・避難計画の作成、自主防とボランティア活動を組み合わせた組織づくりなどの活動について説明を受けた。

同自主防の発足は昭和五十六年。平成七年の阪神大震災を機に組織を見直し、八百四十世帯を九つの班別防災会に分けて、五百六十人の防災委員を任命した。各班別防災会の下には「情報班」「救出班」「消火班」「炊き出し班」「医療班」「救護班」などが組織されている。

「班」づくりに役立ったのが自主防台帳で、薬剤師、医師など、地域居住者が持つ資格や技能が登録されている。また、この台帳に基づき、「ひとり暮らし高齢者」「歩行困難者」「寝たきりの高齢者」「視力・聴覚障害者」など災害弱者の救出・避難計画を策定した。

鈴木前会長は「防災に重点を置いたまちづくりが、人づくりにつながっている」と説明した。

専門調査会のメンバーは「まちづくりの中に防

鈴木前会長（左）から大岩2丁目自主防災会の活動について説明を受ける専門調査会のメンバーら

静岡県葵区

災をどう位置付けるかを検討してきたが、大岩二丁目自主防が取り組んでいるのは、防災を軸にしたまちづくり。迫力を感した」と、先進事例を評価した。

防災フェアにおける「全国防災まちづくりフォーラム（仮称）」

1. 開催趣旨

近年、個人や地域の諸団体NPO等の防災まちづくりの活動が広がりを見せてきている。その中には、防災を主目的として始まったものではない地域の活動が、何かのきっかけで防災の関心を高めた例も少なくない。一方、大災害から時間が経つと防災意識が低下しがちとなり、市民の手による防災活動は継続面で苦勞が多い。このような状況を踏まえ、平成16年10月に「民間と市場の力を活かした防災力向上に関する専門調査会」がとりまとめた基本的提言では、防災まちづくりの動きを支援するため、先行事例、支援措置等の情報提供や地域内・地域間の交流の支援などに取り組むことを政府に求めている。

これを受けて、内閣府では、昭和57年以来24年間開催してきた防災フェアに、全国の防災まちづくりに関わる推進者が集う場を「全国防災まちづくりフォーラム（仮称）」として設け、各地域における防災まちづくりの状況を報告しあい、知識・ノウハウを交換し、相互を励ましあう機会を設けたいと考えている。これにより防災まちづくりに関連した地域内及び地域間の交流を支援し、防災まちづくり活動を活性化させ、関係する市民・団体に持続的な活力を養っていただくことをめざすものとする。

防災まちづくりシンポジウム（テーマ案）

1. 住宅の耐震化

市民グループが開発した安価な耐震改修の技術の成果を平塚市が補助対象工法として採用。また、静岡市などでも取り組みが行われている。

2. 高齢者等、災害時要援護者の災害時避難の取り組み

内閣府では平成16年3月に災害時要援護者の避難支援ガイドラインを策定し、高齢者等、災害時要援護者の災害時避難の取り組みについて、いくつかの地域の事例を紹介している。

防災まちづくり関係者の相互発表会・交流会の実施

防災まちづくりの発表会を行い、後日、防災ポータルサイトを通じて、全国のまちづくり組織に優れた防災まちづくりへの取り組みとして紹介する。またフェイス・トゥ・フェイスの交流の機会の場を防災まちづくり関係者へ提供する。

2 . 防災フェア in 仙台、日程、会場

日 時：平成17年9月2日～5日

会 場：アエル（AER 〒980 仙台市青葉区中央一丁目3番1号 AER5F

TEL.022-724-1111 FAX.022-724-1115）



記者発表資料

平成17年1月18日

(担当) 消防局防災安全課計画係

(内線) 780-2311

(代表) 234-1111

仙台市震災対策市民会議を発足

発生の切迫性が高まっている宮城県沖地震に備え、地域における防災力を高めるため、市民団体や市内事業者団体の構成員をメンバーとする「仙台市震災対策市民会議」を発足させることといたしました。

この会議の発足により、従来からの行政による防災対策に加え、地域の防災力向上による震災対策がさらに充実強化されるものと考えています。

1 目 的

発生の切迫性が高まっている宮城県沖地震に備え、地域における地震防災体制（防災に関する自助・共助）の充実強化を図るとともに、仙台市の地震災害対策に市民及び事業者等の意見を反映させることを目的に設置します。

2 特 徴

地震防災にかかわる関係機関の横断的な組織として、公的機関やライフライン関係機関などで構成する法定の「仙台市防災会議」がありますが、公的機関による防災対策である「公助」の側面が主です。

これに対し、震災対策市民会議は、震災対策に関して市民が主体的にかかわることで、「自助」「共助」の観点から検討を行うのが特徴です。

3 構 成

町内会、仙台市社会福祉協議会、仙台商工会議所、特定非営利法人みやぎ災害救援ボランティアセンターなどの各団体から推薦いただいた方々。

4 第1回会議の開催

- (1) 日 時：平成17年1月26日（水）13時30分～15時30分
- (2) 場 所：仙台市役所本庁舎2階 第2委員会室
- (3) 内 容：
 - ・委嘱状交付
 - ・会長、副会長選出
 - ・仙台市の防災対策の現状説明
 - ・新潟県中越地震の対応状況
 - ・意見交換

仙台市震災対策市民会議委員名簿

平成17年1月現在
敬称略，五十音順

	氏名	所属・役職名
1	いとう しんいち 伊藤 信一	特定非営利活動法人 みやぎ災害救援ボランティアセンター運営委員
2	さとう ひろとし 佐藤 博俊	社団法人仙台建設業協会副会長
3	さとう みつあき 佐藤 充昭	仙台商工会議所総務部会館管理課長
4	しまだ ふくお 島田 福男	川平学区連合町内会長
5	せお かずこ 瀬尾 和子	財団法人仙台市身体障害者福祉協会評議員
6	たかほし みさを 高橋 みさを	木ノ下町内会長
7	たむら まさはる 田村 正晴	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会常務理事事務局長
8	ながやま みつお 永山 三男	長命ヶ丘一丁目町内会長
9	はせがわ いちろう 長谷川 一郎	社団法人仙台青年会議所副理事長
10	ますだ さとる 増田 さとる	東北大学大学院経済学研究科教授
11	みやうち しゅういち 宮内 省一	社団法人仙台市老人クラブ連合会副会長
12	むらさわ みよこ 村澤 美代子	八木山小学校PTA会長
13	むらぬし たけこ 村主 竹子	仙台市婦人防火クラブ連絡協議会長
14	わたなべ ごんえつ 渡邊 権悦	仙台市若林消防団長

仙台市震災対策市民会議設置要綱

(平成16年12月27日市長決裁)

(設置の目的)

第1条 発生の切迫性が高まっている次の宮城県沖地震に備え、地域における地震防災体制の充実強化を図るとともに、仙台市の地震災害対策に市民及び事業者等の意見を反映させるため、仙台市震災対策市民会議（以下「市民会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 市民会議に付議する事項は、次のとおりとする。

- (1) 地域における地震防災体制の充実強化に関する事項
- (2) 仙台市の地震災害対策推進施策についての検証及び提言に関する事項
- (3) 仙台市と市民及び事業者等との情報の共有に関する事項
- (4) 前3号に掲げるもののほか、地震災害対策に関する事項

(組織)

第3条 市民会議は、委員15人以内をもって組織し、別表1に掲げる団体等が推薦する者の内から市長が委嘱する。

- 2 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第4条 市民会議に会長及び副会長一人を置き、委員の互選によって定める。

- 2 会長は市民会議を代表し、会務を統括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときはその職務を代行する。

(会議)

第5条 会長は、市民会議の会議を招集し、その議長となる。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、市民会議の会議に関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(部会)

第6条 市民会議は、その定めるところにより、部会を置くことができる。

- 2 部会に属すべき委員は、会長が指名する。

- 3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によって定める。
- 4 部会長は、部会を統括し、部会の会議の経過及び結果を市民会議に報告しなければならない。
- 5 部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、部会に属する委員のうちから部会長があらかじめ指名する者が、その職務を代行する。
- 6 前条の規定は、部会に準用する。この場合において、「会長」とあるのは「部会長」と、「市民会議」とあるのは「部会」と読み替えるものとする。

(庶務)

第7条 市民会議の庶務は、消防局防災安全部防災安全課において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、市民会議の運営に関し必要な事項は、会長が市民会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成17年1月17日から施行する。

別表1 (第3条関係)

	推 薦 団 体 名
1	宮城県沖地震対策研究協議会
2	市内自主防災組織
3	市内自主防災組織
4	仙台市連合町内会長会
5	社団法人仙台市老人クラブ連合会
6	仙台市PTA協議会
7	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
8	財団法人仙台市身体障害者福祉協会
9	仙台商工会議所
10	社団法人仙台青年会議所
11	社団法人仙台建設業協会
12	特定非営利法人みやぎ災害救援ボランティアセンター
13	仙台市消防団
14	仙台市婦人防火クラブ連絡協議会

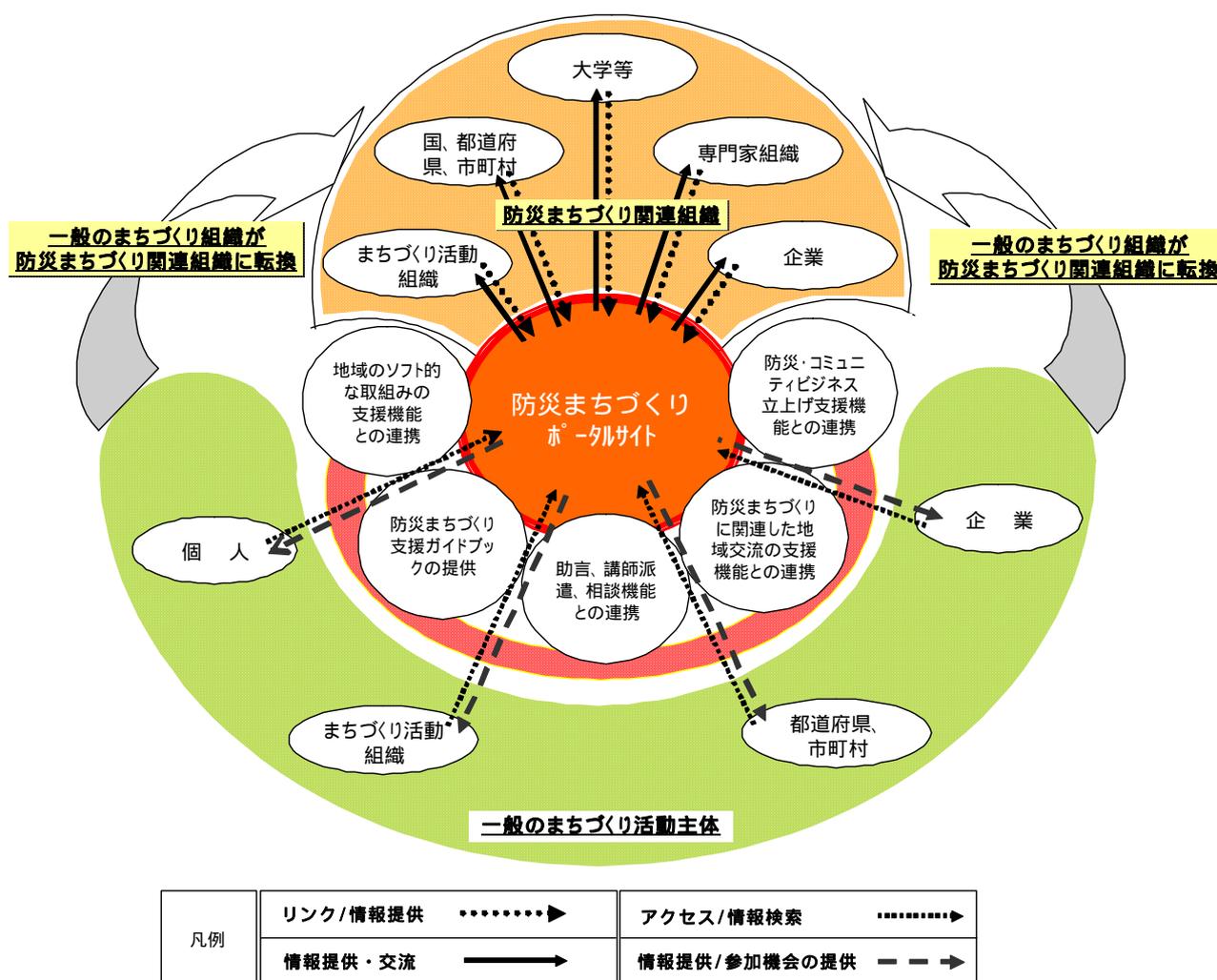
防災まちづくりポータルサイト構築の方向について

1. 防災まちづくり支援策のハブとなる防災まちづくりポータルサイトの構築

防災まちづくりポータルサイトを核として、その先行事例の情報を整理、提供するとともに、各種団体の持つ様々な支援策と連携し、一般の市民、NPO、商店街、企業のまちづくり活動を支援する。

具体的には、防災まちづくりポータルサイトをハブとして、防災に無縁な市民、NPO等が防災風味のあるまちづくり活動へ参画することに役立つ全国のリソース（情報・技術・人材）の連携・ネットワーク化を図る。

図1 防災まちづくりポータルサイトを核とした防災まちづくり活動展開のイメージ



2 . 防災まちづくりポータルサイトの構成・案

- ・ 防災まちづくりポータルサイト構築にあたっては、主に初心者に向けて【防災まちづくりとは何?】において、防災まちづくり活動の内容が分かりやすく紹介しつつ、【事例のご案内】でより詳しくその内容を紹介。
 - ・ 更に、【支援策のご紹介】で、事例との関連を示しながら支援制度の紹介を行う。
 - ・ そして、これを補完するように、防災まちづくりを進める上で知っておくと役に立つツールを、【防災まちづくり工具箱】で紹介する。
 - ・ 併せて、【子どもと一緒に】において、親子で防災まちづくりを勉強するために参考になる事例、紙芝居などを紹介する。
- ・ こうして、防災まちづくり初心者から、専門家まで、幅広いニーズに応える、防災まちづくりポータルサイトとする。(図2 参照)
- ・ なお、防災まちづくりポータルサイトは、内閣府の設けられる第2ポータルサイト【みんなで防災】のページの一部を構成する形で立ち上げるものとする。

図2 防災まちづくりポータルサイトのサイトマップ構成案

【防災まちづくりポータルサイトへようこそ】・防災まちポータル趣旨説明とメニュー紹介

【防災まちづくりの拡がりへの期待】

【トピックス】・ITを活用したコミュニケーションツール

・全国防災まちづくりフォーラム(仮称)

【1.防災まちづくりとは何?】・具体の活動内容を通じて、防災まちづくり全体像を説明

【1-1.学ぶ】

【1-2.調べる】

【1-3.付き合う】

【1-4.連携する】

【1-5.訓練する】

【1-6.交流する】

【1-7.啓発する】

【1-8.広報する】

【1-9.発信する】

【1-10.広報する】

【1-11.計画を作る】

【1-12.施設を作る】

【1-13.管理する】

【2.事例のご案内】・防災まちづくり事例を、様々な分類を手がかりに調べられるよう紹介

【2-1.分類別検索】

【2-1-1.活動対象とする市街地の分類】

【2-1-2.想定する災害の分類】

【2-1-3.活動内容による分類】

【2-1-4.組織の特徴による分類】

【2-1-5.活用した支援制度の有無・内容による分類】

【2-1-6.活動段階別ニーズによる分類】

【3.支援策のご案内】・支援制度を様々な分類を手がかりに調べられるよう紹介

【3-1.分類別検索】

【3-1-1.支援対象別】

【3-1-2.支援内容別】

【3-1-3.支援主体別】

【3-2.支援策活用にあたっての留意事項】

【4.防災まちづくり工具箱】・防災まちづくりを知っておくと役に立つトピックを紹介。

【4-1.身の回りの危険に備えたい】

【4-1-1.地域の危険度を調べる】・危険度チェックを行うソフトの紹介。

【4-1-1-1.地震時の火災延焼危険度を調べる】

【4-1-1-2.土砂災害の危険度を調べる】

【4-1-1-3.災害時要援護者を調べる】

【4-1-1-4.家具転倒等、身近な生活環境の危険度を調べる】

【4-1-2.我が家の耐震性をチェックする】・住宅の耐震化関連ポータルとリンク

【4-2.防災に関する知識を得たい】・防災に役立つ知識を得る窓口、専門家を紹介

【4-3.専門家の応援を受けたい】・建築士会等の相談窓口の紹介

【5.子どもと一緒に】・防災まちづくりの担い手が情報交換・交流を行う場の提供

【5-1.防災まちづくり学習】

【5-1-1.紙芝居】・「稲むらの火」関連ポータルとのリンク

【5-1-2.防災まちづくり学習が이드ブック】

・(社)再開発コーディネート協会によるが이드ブック紹介

【5-2.防災教育】・防災教育の実践例を紹介

【5-2-1.防災教育チャレンジプラン】・【防災教育チャレンジプラン】とのリンク

【5-2-2.子どもぼうさい甲子園】・【子どもぼうさい甲子園】とのリンク

【5-2-3.ぼうさい探検隊マップコンクール】

・【ぼうさい探検隊マップコンクール】(社)日本損害保険協会とのリンク

【6.交流の広場】・防災まちづくりの担い手が情報交換・交流を行う場の提供。

【6-1.テーマ別防災まちづくり掲示板】

【6-1-1.地震対策】・地震対策に役立つ防災まちづくり活動の情報交流。

【6-1-2.津波対策】・津波対策に役立つ防災まちづくり活動の情報交流。

【6-1-3.風水害対策】・風水害対策に役立つ防災まちづくり活動の情報交流。

【6-2.質問コーナー】・防災まちづくりに関する質問を受けつけ、回答。

【6-3.全国防災まちづくりフォーラム(仮称)】

【7.総合検索】・複数のキーワードを使って事例等を横断的に検索。

【8.関連リンク】

【9.お問合せ先】

3 . 防災まちづくりポータルサイトのページ構成について

3-1 . トップページのページ構成

- ・ 防災まちづくりポータルサイトのメニューを簡単な説明をつけて紹介する。
- ・ ポータルにアクセスした際、サイトの全貌が一目で見えるように、コンパクトにトップページをデザインする。
- ・ また、「防災まちづくりポータルサイト」の趣旨について、【防災まちづくりへの期待】という項目でコラム的に紹介を行う。
- ・ 更に、トピックとして随時新しい話題を取り上げるコーナーを設ける。
- ・ 当面、IT を活用したコミュニケーションツールと、防災フェアに併せて実施する全国防災まちづくりフォーラムを話題として取り上げる。

(以下、コメント内にある下線部がリンクページに飛ぶボタンである)

図 4 トップページの構成

<p>【防災まちづくりの拡がりへの期待】～内閣府から皆様へ～</p> <p>防災まちづくりポータル サイトへようこそ</p> <p>■トピックス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITを活用したコミュニケーションツール ・全国防災まちづくりフォーラム(仮称) 		
 <p>■「<u>防災まちづくり</u>」とは何?</p> <p>ここから始めてみよう防災まちづくり。</p>	 <p>■<u>事例のご案内</u></p> <p>防災まちづくりの具体的なイメージを持てるよう、先進事例を紹介。</p>	 <p>■<u>支援策のご案内</u></p> <p>具体的な適用例も含め、支援制度を整理し、何に役立つ制度なのかが分かるように構成。</p>
 <p>■<u>防災まちづくり道具箱</u></p> <p>初心者から防災まちづくり専門家まで、幅広い層に必要な情報を紹介。</p>	 <p>■<u>子どもと一緒に</u></p> <p>防災まちづくりを子供と一緒に進めるための材料を紹介。</p>	 <p>■<u>交流の広場</u></p> <p>防災まちづくりに参加している方々、様々な情報交流や質問などを通じて、交流する場を提供。</p>
<p>■<u>総合検索</u></p> <p>複数のキーワードを使って事例、支援制度全体を横断的に検索する</p>	 <p>■<u>関連リンク</u></p>	 <p>■<u>問い合わせ先</u></p>

3-2.【防災まちづくりとは何?】～ここから始めてみよう防災まちづくり～のページ構成

- ・防災まちづくりとは、どんな活動なのか、まちづくりを知らない人にもイメージをしやすいように、活動内容から、防災まちづくりを概説するページを設ける。

1) ページ全体構成

- ・ページ冒頭に全体の見出しを置き、そこから、各々の活動内容を示すページに移るよう、ページ全体を構成する。

<まず、最初に>

___学ぶ

まちをつくる前に、自分のまちを知らなければ始まりません。

___調べる

まちをつくるために、必要な情報は集めなければなりません。

<日頃の心がけ>

___付き合う

日頃から付き合っていないと、いざという時に助け合うのは難しいものです。

___連携する

いざという時に、様々な組織が力を合わせる必要があります。

___訓練する

体が覚えていなければ、いざという時に使えません。

___交流する

お互いを励ましあうことは、お互いの活力を保つために有効です。

___啓発する

自分が学ぶだけでなく、他人が学ぶお手伝いをする 것도大切です。

___広報する

人に知られていればこそ、協力もあり、援助も出てきます。

___発信する

情報発信ツールを活かすことで、防災まちづくりは一段と活発さを増します。

<何かを生み出す>

___計画を作る

多くの人を巻き込み、成果を上げるには、活動の計画を練ることが一番です。

___施設を作る

それを全員で活用することは素晴らしいことです。

___管理する

施設を持ち、運営に使える活動では、施設の管理も行わなければなりません。

2) 各活動ページの内容

<まず、最初に>

学ぶ

まちをつくる前に、自分のまちを知らなければ始まりません。
まちをつくる前に、どういうまちが素晴らしいのか、知らなければ始まらないのです。
素晴らしいまちは、誰がどうやって作ったか、知らなければ始まりません。
何事も始めに勉強ありきです。さて、とりあえず、何から勉強しましょう。

【活動内容 1】

地域のテーマが地震であれば、例えば阪神・淡路大震災、津波であれば、例えば北海道南西沖地震といったように、地域の課題に合致する大災害を経験した人の話を聞く取り組みが行われている。

【事例】：大水崎自主防災会（和歌山県串本町）

ひらつか防災まちづくりの会（神奈川県平塚市） など

【活動内容 2】

専門家にテーマを持って連続的な講義を受け、防災まちづくりの内容や活動を進めていく上でのコツなどを学ぶ取り組みが行われている。

【事例】：市民防災まちづくり学校（東京都国分寺市） など

調べる

まちを作るために、必要な情報は集めなければなりません。
まちを作るために、普通はどんな情報が必要でしょう。そして、それはどんな風を集めるのでしょうか。情報を集めて、何を知ればよいのでしょうか。

【活動内容 3】

一緒に街歩きをして、地域の危険度を調べる。調べた結果は、安全マップなどの形で共有できる成果としてまとめる取り組みが行われている。

【事例】：ひらつか防災まちづくりの会（神奈川県平塚市）

清水安全・安心まちづくり実行委員会（京都府京都市）

目白まちづくり倶楽部（東京都豊島区） など

【活動内容 4】

ITを活用して、防災関連の様々な情報をGIS上に集約し、とりまとめ、まちづくりの課題を把握する取り組みが行われている。

【事例】：目白まちづくり倶楽部（東京都豊島区）
豊中市地図情報提供サービス（大阪府豊中市） など

<日頃の心がけ>

付き合う

日頃から付き合っていなければ、いざというとき助け合うのは難しいものです。
日頃から付き合っていなければ、いざというとき誰を助けたらいいのかわかりません。
防災まちづくりの盛んな地区では、日頃のお付き合いって、どう育てているのでしょうか。

【活動内容5】

いざという時に助け合いができるように、防災活動での役割も意識しながら、例えば、温泉の宅配サービス、給食サービスなど、地域の福祉ボランティア活動を行う取り組みが行われている。

【事例】：大岩二丁目自主防災会（静岡県静岡市）
春日住民福祉協議会（京都府京都市）
北須磨団地自治会（兵庫県神戸市） など

【活動内容6】

自主防災台帳づくりを通じて、地域に居る人材（医者、看護婦、大工など）を把握し、いざという時に活動できるよう、組織化をする取り組みが行われている。

【事例】：大岩二丁目自主防災会（静岡県静岡市）

連携する

いざというときに、様々な組織が力を合わせる必要があります。
いざというときのために、日頃から連携している組織がたくさんあります。
どんな形の連携がよく行われているか、そのノウハウを知りましょう。

【活動内容7】

商店街や大学と連携し、独居高齢者宅の窓ガラスに学生ボランティアを活用して飛散防止フィルムを貼るなどの、地域の福祉活動を行うとともに、防災力向上にもつながる地域活性化への取り組みが行われている。

【事例】：早稲田商店街（東京都新宿区）
清水安全・安心まちづくり実行委員会（京都府京都市） など

【活動内容 8】

遠隔地のある姉妹都市などと連携し、震災の被災者が一時的に疎開できる仕組みづくりや、防災訓練の際の特産品提供等を通じた地域間交流などの取り組みが行われている。

【事例】：早稲田商店街（東京都新宿区）

東京駅周辺防災隣組（東京都千代田区） など

訓練する

被災時のちょっとした知恵でも、体が覚えていなければ、いざというときに使えません。身近な関係者と一緒に日頃から訓練をしていることが重要です。防災まちづくりの盛んな地区では、どんな訓練をやっているのでしょうか。

【活動内容 9】

防災訓練の参加者が見学、観察者の立場にならず、本人として参加することができるよう、町会よりも細かい単位で防災訓練を実施し、防災活動を身近なものとする試みが行われている。

【事例】：大岩二丁目自主防災会（静岡県静岡市） など

【活動内容 10】

昼間人口の多い業務系市街地では、災害発生時に多数の帰宅困難者の発生が予想される。このため、業務地区内の事業所、従業者等に呼びかけて、サラリーマンが参加する帰宅困難者訓練が実施されている。

【事例】：東京駅周辺防災隣組（東京都千代田区）

旧居留地連絡協議会防災委員会（兵庫県神戸市）

交流する

防災まちづくりは地味な努力の積み重ねです。努力をしている者同士が交流し、お互いを励ましあうことは、お互いの活力を保つために有効です。今、防災まちづくりの関係者には、どんな交流の場があるのでしょうか。

【活動内容 11】

BLOG による広域都市圏の情報共有、地震関連情報リンク集等の運営等通じ、IT を通じて地域内外の住民が情報を共有し、交流する試みが行われている。

【事例】：NPO 法人ながおか生活情報交流ネット（新潟県長岡市）

NPO 法人豊前の国建設倶楽部（大分県中津市） など

【活動内容 12】

幅広いネットワークを持っている NPO 等の防災活動組織では、シンポジウムやワークショップ、チャリティーイベントの開催し、情報交換や交流が行われている。

【事例】：東京いのちのポータルサイト（東京都新宿区）

NPO 法人都市防災研究会（神奈川県横浜市）

NPO 法人ながおか生活情報交流ネット（新潟県長岡市） など

【活動内容 13】

防災に関心を持つ人が気軽に集まることのできる場を確保し、防災活動の担い手交流を進める取り組みが行われている。

【事例】：多摩田園都市防災まちづくり協議会（神奈川県横浜市など） など

啓発する

自分が学ぶだけでなく、他人が防災まちづくりを学ぶお手伝いをする 것도大切です。防災まちづくりのノウハウを地域の人に伝授する方法に、どんなやり方があるでしょう。

【活動内容 14】

研修会の開催を通じて、防災ノウハウの幅広く伝える取り組みが行われている。

【事例】：NPO 法人東京いのちのポータルサイト（東京都新宿区）

NPO 法人都市防災研究会（神奈川県横浜市） など

【活動内容 15】

防災活動のリーダー研修を行うことで、防災活動を担う人材を育成し、防災活動を拡げていく、取り組みが行われている。

【事例】：災害ボランティアコーディネータ西部連絡会（静岡県）

NPO 法人防災ネットワークうべ（山口県宇部市）

安全・安心まちづくりポニター（愛知県春日井市） など

【活動内容 16】

住宅の耐震補強工事を公開で行なうことによって、住宅耐震化の技術やノウハウを地域に知ってもらい取り組みが行われている。

【事例】：ひらつか防災まちづくり会（神奈川県平塚市） など

広報する

自分のまちの防災まちづくり活動を多くの関係者に知らせる努力は大切です。人に知られてい

ればこそ、協力もあり、援助も出てきます。防災まちづくりの盛んな地域ではどんな広報をしているでしょう。

【活動内容 17】

ニューズペーパーや、会報など、定期的に活動内容を広報するとともに、ホームページなどを通じ、活動内容を広く知らせる取り組みを行っている組織が増えている。

【事例】：NPO 法人フュージョン長池(東京都八王子市) 他多数

【活動内容 18】

ブックレットや活動内容をまとめた本を出版し、活動費の一部に充当するとともに、より深く活動内容を広報する取り組みも見られる。

【事例】：NPO 法人東京いのちのポータルサイト(東京都新宿区)

NPO 法人都市防災研究会(神奈川県横浜市) など

発信する

ITの時代、防災まちづくりに活動する人には多くの情報発信ツールがあります。これらの道具を生かすことで、防災まちづくりは一段と活発さを増します。防災まちづくりの盛んな地域では、どんなITの使い方をしているでしょう。

【活動内容 19】

コミュニティ FM を活用して、防災知識啓発や、防災関連イベント情報の発信など、地域に密着した情報を提供する取り組みが行われている。

【事例】：多摩田園都市防災まちづくり協議会(神奈川県横浜市など) など

【活動内容 20】

BLOG を活用することで、各地域の質の高い防災情報を集め、発信する試みが行われている。

【事例】：NPO 法人ながおか生活情報交流ネット(新潟県長岡市) など

<何かを生み出す>

計画を作る

漠然と防災まちづくりを始めるのもひとつのやり方ですが、多くの人を巻き込み、効率的に成果を上げるのは、活動の計画をよく練ることが一番です。防災まちづくりの活発な地域では、どんな活動計画を立てているでしょう。

【活動内容 21】

地域危険度を把握し、課題をワークショップを活用し、住民参加でまとめ、地域の防災まちづくり計画を作る取り組みが行われている。

【事例】：目白まちづくり倶楽部（東京都豊島区）

一寺言問を防災のまちにする会（東京都墨田区） など

施設を作る

みんなで集まるだけでも防災まちづくりには十分有効ですが、何かの施設を作り、それを全員で活用していけたら、これほど素晴らしいことはありません。施設の建設に成功した防災まちづくりの例を十分に勉強しましょう。

【活動内容 22】

津波からの避難路整備や、防災拠点となる公園整備など、地域で緊急の課題となっている防災施設づくりを自らの手で行う取り組みがされている。

【事例】：大水崎自主防災会（和歌山県串本町）

一寺言問を防災のまちにする会（東京都墨田区）

NPO 法人日本公開庭園機構（東京都国立市） など

管理する

幸運にも施設を持ち、運営に使える防災まちづくり活動は、施設の管理も行わなければなりません。どのように負担なく、施設のメンテナンスを行うのか、施設の運営を行っている防災まちづくり活動の例を十分に勉強しましょう。

【活動内容 23】

防災関連施設（避難路、公園など）の管理、地域のまちづくり組織が受け、その場所を拠点として活動を行う取り組みがされている。

【事例】：NPO 法人フュージョン長池（東京都八王子市）

大水崎自主防災会（和歌山県串本町） など

3-3. 【事例のご案内】のページ構成

1) 対象とする事例

- ・防災まちづくり事例については、平成 15 年度、16 年度に防災まちづくり分科会、ワーキングで検討した事例内容を基本として、事例の整理、紹介を行う。
- ・また、防災フェアにわせて同時の行う交流会に参加する防災まちづくり組織の取り組み内容を事例として加え、経年的に内容の充実化を図り、防災まちづくり事例のデータベース整備を図っていく。

2) 【事例のご案内】の構成内容

- ・関心のあるところから、防災まちづくり事例を調べられるように、分類別検索、ニーズ別検索、様々なアプローチができるように、工夫する。
- ・なお、データについては、記載年月日を掲載し、1 年ごとに更新、確認をする。
- ・データベースフォーマットは、図 5 に示す通り。検索した結果は データベースフォーマットでその内容を確認した上で、当該団体のホームページでより詳細な情報にアクセスするか、ホームページが無い場合は、事務局がヒアリング調査・整理した内容にアクセスする形で、参照する。

[分類別検索]

<u>活動対象とする市街地の分類</u>	表 1
<u>想定する災害の分類</u>	表 2
<u>活動内容による分類</u>	表 3
<u>組織の特徴による分類</u>	表 4
<u>活用した支援制度の有無・内容による分類</u>	表 5
<u>発展段階別活動ニーズによる分類</u>	表 6

表1 活動対象とする市街地の分類

下線部をクリックすると事例リストのページに移る

市街地の分類		
全国を対象		 事例リストへ
都市より広域的な地域	大都市圏 <u>注1)</u>	 事例リストへ
	地方都市圏 <u>注2)</u>	 事例リストへ
業務系市街地	大都市圏	 事例リストへ
	地方都市圏	 事例リストへ
商業系・商住複合市街地	大都市圏	 事例リストへ
	地方都市圏	 事例リストへ
住宅系既成市街地	大都市圏	 事例リストへ
	地方都市圏	 事例リストへ
新市街地（ニュータウン等）	大都市圏	 事例リストへ
	地方都市圏	 事例リストへ

(例えば…)

【防災まちづくり事例リスト】
 早稲田商店街(新宿区)
 目白まちづくり倶楽部(豊島区)
 戸越1・2丁目地区まちづくり懇談会
 (品川区)
 ぼうけん会(北区)
 清水安全・安心まちづくり実行委員会
 (京都市)
 春日住民福祉協議会(京都市)

表2 想定する災害の分類

下線部をクリックすると事例リストのページに移る

想定する災害の分類	防災まちづくりの例	
地震	<u>建物耐震化対策</u> (耐震技術勉強会、耐震診断、公開耐震化工事、など)	 事例リストへ
	<u>市街地環境の不燃化対策</u> (避難路の整備・維持管理、防災公園の整備・維持管理、など)	 事例リストへ
	<u>住民対応力の強化</u> (災害時要援護者支援、啓発活動、情報共有、など)	 事例リストへ
	<u>帰宅困難者対策</u> (訓練、など)	 事例リストへ
	<u>防災教育</u> (防災キャンプ、総合学習の活用、絵本、防災加工作成、など)	 事例リストへ
津波	<u>避難対策</u> (避難計画策定、避難路整備・管理、など)	 事例リストへ
	<u>住民対応力の強化</u> (災害時要援護者支援、啓発活動、情報共有など)	 事例リストへ
	<u>防災教育</u> (総合学習の活用、紙芝居、影絵 など)	 事例リストへ
火山	<u>避難対策</u> (避難計画の策定、など)	 事例リストへ
	<u>住民対応力の強化</u> (啓発活動、情報共有など)	 事例リストへ
	<u>防災教育</u> (総合学習の活用、など)	 事例リストへ
水害	<u>住民対応力の強化</u> (災害時要援護者支援、啓発活動、情報共有、など)	 事例リストへ
	<u>防災教育</u> (研修、総合学習の活用、など)	 事例リストへ

表3 活動内容による分類

下線部をクリックすると事例リストのページに移る

防災まちづくり活動の分類		(参考:防災まちづくり活動の具体例)	
都市を超えた広域的防災まちづくり活動	<u>防災情報・技術の普及・啓発</u>	シンポジウム、講習会、防災関連技術の展示等	事例リストへ
	<u>防災情報の共有・発信</u>	ポータルサイトの構築、BLOGによる情報共有、情報リンク集の運営等	事例リストへ
	<u>防災ボランティアのネットワーク化、リーダー育成</u>	防災まちづくりリーダーやコーディネーター育成、ボランティア団体、企業とのネットワークづくり	事例リストへ
	<u>過疎地域での広域連携による災害時要援護者の支援</u>	行政域を超えた合同訓練、過疎地高齢者の避難訓練	事例リストへ
	<u>専門家ネットワークによる技術支援</u>	耐震診断研修、耐震化相談、診断ソフトの提供、公開耐震化工事	事例リストへ
地区～都市レベルでの防災まちづくり活動	<u>防災訓練</u>	起震車による地震体験シミュレーション、救助犬の参加訓練、消化訓練、炊き出し、トリアージ訓練、防災無線活用訓練、救助パイク活動訓練	事例リストへ
	<u>地区の現状(危険度)把握</u>	地域危険度を把握する街歩き調査、図上訓練、危険場所を示す地図の作成	事例リストへ
	<u>地区防災計画の検討・策定</u>	地区防災計画の検討・策定	事例リストへ
	<u>住民による防災施設づくり</u>	路地尊の整備・維持管理、安全緑地の整備・維持管理、避難路の整備・維持管理、防災公園の整備・維持管理	事例リストへ
	<u>子供の教育・啓発活動</u>	防災教育(防災キャンプ、総合学習の活用、絵本、防災カルタ作成 など)	事例リストへ
	<u>災害時要援護者の支援</u>	地域の見守り活動(お年寄りのお宅訪問、見守り など)	事例リストへ
	<u>人材の育成</u>	防災まちづくりリーダーやコーディネーターの育成(研修会、講習会など)	事例リストへ
	<u>防災をテーマに取込んだ地域活性化</u>	震災疎開パッケージ、防災グッズや防災技術の啓発 など	事例リストへ
	<u>帰宅困難者支援対策</u>	帰宅困難者避難訓練、市民救命士の養成など	事例リストへ
	<u>防犯活動</u>	防犯パトロール など	事例リストへ

表4 組織の特徴による分類

下線部をクリックすると事例リストのページに移る

防災まちづくり主体の分類		
既往の地域組織	<u>商工系（商店街振興組合など）</u>	 事例リストへ
	<u>自主防災組織（自主防災会、自治会など）</u>	 事例リストへ
	<u>その他（PTA、消防団、学校等）</u>	 事例リストへ
任意の組織	<u>企業系</u>	 事例リストへ
	<u>住民系</u>	 事例リストへ
NPO	<u>企業系</u>	 事例リストへ
	<u>住民系（まちづくりNPO等）</u>	 事例リストへ

表5 活用した支援制度有無・内容による分類

下線部をクリックすると事例リストのページに移る

防災まちづくり活動 の分類	活用した支援制度	
支援制度にある助成 金の活用	<u>財団、専門家組織による助成金の活用</u>	 事例リストへ
	<u>市町村のNPO等活用支援制度による助成</u>	 事例リストへ
	<u>市街地整備に関するハード事業補助金の活用</u>	 事例リストへ
	<u>県、国レベルのソフトなまちづくり支援事業の活用</u>	 事例リストへ
支援制度にある人材 派遣制度の活用	<u>財団、専門家組織による人材派遣</u>	 事例リストへ
	<u>市町村のNPO等活用支援制度による人災派遣</u>	 事例リストへ
	<u>市街地整備に関するハード事業による人材派遣</u>	 事例リストへ
	<u>県、国レベルのソフトなまちづくり支援事業の活用</u>	 事例リストへ
既存支援制度にある 社会実験の活用	<u>国、県レベルの支援制度の活用</u>	 事例リストへ
支援制度は活用していない		 事例リストへ

表6 発展段階別活動ニーズによる分類

下線部をクリックすると事例リストのページに移る

活動の段階	活動ニーズ	
初動期	<u>防災に関する基礎知識をつけたい</u>	 事例リストへ
	<u>専門家と協力関係を作りたい</u>	 事例リストへ
	<u>街のどこが危険かを知りたい</u>	 事例リストへ
	<u>防災訓練を活発にしたい</u>	 事例リストへ
	<u>防災への関心を高めたい</u>	 事例リストへ
充実期	<u>仲間と協力して防災まちづくり組織を立ち上げたい</u>	 事例リストへ
	<u>防災まちづくりの担い手を増やしたい</u>	 事例リストへ
	<u>目に見える防災まちづくりの成果を上げたい</u>	 事例リストへ
	<u>幅広く、活動内容を広報したい</u>	 事例リストへ
発展期	<u>広域的な交流をしたい</u>	 事例リストへ
	<u>防災にも役立つコミュニティビジネスを行いたい</u>	 事例リストへ
	<u>新たな技術を活用して、地域の防災力を高めたい</u>	 事例リストへ
	<u>防災施設の維持・管理を担いたい</u>	 事例リストへ

図5 データベースフォーマット・案

編	活動主体 者名	活動内容の概要紹介	活動地区名	活動地域の特徴 想定する災害	災害対策の例 想定する災害	活動の分類 細目	土休の分類 細目	支援制否の類 細目	詳細	訂上
	NPO・FLSIDN長池	NPO・FLSIDN長池は、多摩ニュータウン 南西部の長池公園を中心に、住民の暮らしを様々な角度から支援することを目的に活動を行っているNPO(特定非営利活動法人)です。地域活性化支援、住宅管理支援、住みやすい作り支援、高齢者福祉支援、地域広報支援などに取り組んでいるほか、2001年7月からは、川崎市より委託を受けて、八王子市長池公園自然館(長池キョウテンセンター)の管理運営を行っております。地域住民の様々な活動に役立つ施設となるよう管理運営していく予定です。	長池公園管中心	広場な地域	建物耐震化	広域的レベル 普及啓蒙	企業系NPO	制度不備	市町村の助成 市町村の助成	訂上
	特定非営利活動法人日本公開庭園機構	同市では、大幸地区のシンボリックな緑地空間を創出し、市民の憩いを守る取り組みを積極的に進めていた。その一環として、NPO法人日本公開庭園機構(株)が、国立市都市計画課(スカープ)と、国立市緑の基本計画の策定作業を通じて、安全緑地整備を実現しようということになり、市内に安全緑地を設置することになった。これ以外にも防災ボランティアの組織化などについても協力をしていただいている。機構の理事は元々、住宅デベロッパーにおり、その頃から環境共生の仕組みを組み込んだ住宅づくりを進めていた。イギリスでの視察体験がきっかけとして、一般の人たちが、身近な環境の緑化に関わりたい方策として、安全緑地という考えにたどりつく。安全緑地とは民地の一部が公開空間として提供することにより、防災、環境、景観、など、様々な面から地域の環境改善を実現するもの。大工、土木職人、建築家など、様々な専門家の協力により、実際に安全緑地を設置・整備する取り組みを進めている。活動を継続してきて分かったこととして、ガーデニングに対しては身近な市民の関心が高まっていることである。最近、近所の主婦の方がこのような活動に参加する機会が広がっている。成城学園では、住宅展示場の整備を行うにあたって、土地の一部を提供頂き、様々な企業からの支援を受けて、安全緑地を整備した。日本公開庭園機構では、国立市に働きかけ、安全緑地整備を委託整備で行い、また、その後、安全緑地を推進するための国立市からの委託を受け、ガーデニング相談会・講習会を実施している。また、成城住宅展示場内に整備された「安全緑地見本園」については、環境事業団による補助(240万円)だけでなく、10社を超える企業の支援を受け、安全緑地整備を行っている。このように、企業とのコラボレーションは、今後の防災まちづくりに寄与する可能性がある。	東郊区国立市	広場な地域	建物耐震化	広域的レベル 普及啓蒙	住民系NPO	制度不備	会費等	訂上
	和歌山県自三防災組織	和歌山県串本町は、本州の紀伊半島の最南端の瀬岬にある町で、風光明媚な町である。三方が海に囲まれ、津波被害を受けやすいところから、避難路整備の取組みが始まった。瀬岬が太平洋に突出し、紀伊半島と近い砂丘で結ばれた土地、町の中心があり、三方を海、囲まれた上、海岸の狭い崖下の土地を埋め立て、街を造っている。その埋立地にあるのが、人口時地区である。993(平成5年)7月、北海道南西沖地震が発生し、奥尻島をはじめ伊豆半島各地が津波に襲われ大被害を受けた。同島と似たような地形からの災害を人ごとでいいと思っ町民も多く、串本町青年会議所が奥尻町長の被災報告講演会を2002年12月に開催した。この講演を通じて、住民は大きな危機感を持った。土地のほとんどが海抜1メートル以下で津波の被害をまともに受ける危険があるにもかかわらず、近所でも高台に避難できる通路がなかったからである。このような経緯から、住民の発意により、避難路が作られることになった。	和歌山県串本町	住宅系既成市街地	津波	広域的レベル 大規模対策	住民防災組織	制度不備	市町村の助成	訂上



前頁データベースから、当該団体のホームページまたは、ホームページがない場合は、事務局が作成する以下のような事例の紹介に移るよう、ポータルを設計。

未定稿

大水崎自主防災会（和歌山県串本町）

活動対象	<p>和歌山県串本町は、本州の紀伊半島の最南端の潮岬にある町で、風光明媚な町である。</p> <p>三方向を海に囲まれ、津波被害を受けやすいところから、避難路整備の取り組みが始まった。</p>	
視点	<p>奥尻島町長の講演をきっかけに危機感を持った住民が、自ら避難路を整備、自主的な防災まちづくりへと展開していった注目すべき事例である。</p>	
経緯	<p>潮岬が太平洋に突出し、紀伊半島と低い砂丘で結ばれた地域に町の中心があり、三方を海に囲まれた上、海岸の狭い崖下の土地を埋め立て、街を造成している。その埋立地にあるのが、大水崎地区である。1993（平成5年）7月、北海道南西沖地震が発生し、奥尻島をはじめ渡島半島各地が津波に襲われ大被害を受けた。同島と似たような地形からこの災害を人ごとではないと思った町民は多く、串本町青年会議所が奥尻町長の被災報告講演会を翌年12月に開催した。この講演を聴き、住民は大きな危機感を持った。土地のほとんどが海拔3メートル以下で津波の被害をまともに受ける危険があるにもかかわらず、短期間で高台に避難できる通路がなかったからである。このような経緯から、住民の発意により、避難路が作られることになった。</p>	
取組概要	<p>津波避難マップの作成</p> <p>大水崎地区の地区組織「大水崎区」では講演会后、「津波避難マップ」作成に取り組んだ。その結果、避難指定場所の総合運動公園まで遠いこと、道はないが、近くて避難可能な高台まで歩いて行けそうな場所には湿地帯があること、そこに行くまで交差点も踏切もなく、交通規制がない限り危険なことなどがわかった。そこで大水崎区では、串本町役場へ「避難路整備」を求めて要望に行った。町としては要望箇所が線路沿いで踏み切りもないのでJRと折衝したが、承諾を得られず、避難路整備の要望は踏切がないのではと、安全面の点から認められなかった。</p>	



避難路を検討する住民

避難路の建設

このため、大水崎区自主防災会では、自分たちの力で避難路を造ろうと、「避難路整備推進委員会」をつくり、地区の住民たちの理解を得て、地区防災計画の方針をまとめ、自主建設を行うこととし、区の予算から設計費を支出して避難路工事に着手した。

工事は住民の手弁当で行った。仕事の合間に作業をするため、日曜日など休日に作業を行ったが、2000年9月に工事に着手して10か月で完成させることができた。湿地帯の軟弱地盤のところにはJR串本駅からもらった不用の枕木を敷くなど工夫し、海拔10メートルの高台まで避難できる道を完成させた。問題の踏切の個所は、工事中JRの時刻表を見ながら線路に見張り番をつけて作業を行い、列車が通る10分前には作業を中止するという安全対策をしながら進めた。



地に板を敷き高台にはしごを架けた避難路

運動公園までの道を町が整備

避難路が完成した年の10月、住民たちのこの熱意と実行力が、報告を受けた田嶋勝正町長（98年10月～）の心を動かした。5年半前、奥尻町長を講演会に呼んだ青年会議所の当時の理事長が田嶋町長であった。また、国の地震調査研究推進本部が、前月、今後30年以内に南海地震が発生する確率を40%、東南海地震は50%と評価し、国・県を挙げて両地震の対策に着手し始めたことも町を後押しした。

町では住民たちが完成させた高台からさらに上の、海拔37メートルの地点にある指定避難場所の総合運動公園に通ずる避難路を建設することにし、翌02年7月工事に着手、運動公園まで約5分で避難できるようにした。昨年度には夜間でも避難しやすいように足元を照らす蓄電式の非常灯も設置した。



完成した避難路、右下が住民の手作り部分

避難路の安全管理

避難路の完成後、避難路を近道に使い住民が線路を横切って、列車を緊急停車させたことが2、3回あったという。そこで、あくまでも津波発生時や訓練時以外は使用しないようにと、入口に頑丈な扉をつけ、入口広場に「災害時の避難路です」と大きな看板を立て注意を呼びかけている。避難路の整備の中心となった推進委員会は、その後も避難路の草刈りや点検など維持管理を行っており、改めて組織化していないが、大水崎自主防災組織として活動を続けている。

また、この活動に刺激され、串本町内に7つの「自主防災会」が誕生している。

3-4. 【支援策のご案内】のページ構成

- ・ 支援制度を様々な分類を手がかりに調べられるよう紹介する。
- ・ 支援策の整理にあたっては、支援策の活用事例の提示など、制度を活用しやすくなるような工夫を行う。
- ・ なお、都道府県、市町村の支援策については、先行的制度を一部紹介することとする。

[分類別検索]

<u>支援対象別</u>	表 7
<u>支援内容別</u>	表 8
<u>支援主体別</u>	表 9

[支援策活用にあたっての留意事項]

表 7 支援対象別分類

支援対象	
<u>自治会、PTA 等、住民組織</u>	 支援策リストへ
<u>任意組織</u>	 支援策リストへ
<u>商業系組織</u> (<u>商工会議所、商工会等</u>)	 支援策リストへ
<u>NPO、財団法人、社団法人</u>	 支援策リストへ

表 8 支援内容別分類

支援内容	
<u>相談</u>	 支援策リストへ
<u>人材派遣</u>	 支援策リストへ

事務局機能支援	 支援策リストへ
技術支援	 支援策リストへ
助成	 支援策リストへ
融資	 支援策リストへ

表9 支援主体別分類による支援策対応表

支援主体		
国	 支援策リストへ	表10 支援策表
<u>NPO、財団法人、企業、社団法人</u>	 支援策リストへ	表11 支援策表
<u>都道府県注3)</u>	 支援策リストへ	
<u>市町村注4)</u>	 支援策リストへ	

注3) 先行的な都道府県の支援制度を一部紹介

注4) 先行的な市町村の支援制度を一部紹介

表 10 国の支援策注 5)(一部)

(未定稿)

支援策名	支援主体	支援内容	支援対象 (支援形態)	アドレス	活用事例
自主防災組織活性化事業	総務省 消防庁	市町村が行う自主防災組織の活動支援に対する補助金制度(消防防災施設整備費に対する補助)	地方自治体 (補助金)		多数
わがまちづくり支援事業	総務省自治 行政局自治 政策課	住民の方々の自主的な取組みをさらに拡大し、住民と行政が役割を分担して行う地域づくりを支援する制度	地方自治体 (市町村に 交付される 普通交付 税)	http://www.soumu.go.jp/wmachi/index.html	「コミュニティー活動等事業」(岩手県田野畑村) (!自主防災体制の整備と意識啓発にも活用)
全国都市再生モデル調査	内閣官房 都市再生本 部事務局	全国の都市を対象に、市町村や NPO など地域が「自ら考え自ら行動する」都市の再生に関する取組を支援	NPO、地 方自治体、 公益法人 (助成金)	http://www.kantei.go.jp/jp/toshi/05suisi/index.html	「コミュニカと GIS シミュレーションを活用した密集市街地の防災まちづくり調査」NPO 法人東京いのちのポータルサイト(東京都板橋区) (!小学生と地域住民が NPO と協働し調査) 「防災を考慮した水と緑のネットワーク再生事業検討業務」NPO 法人江東区の水辺に親しむ会(東京都江東区)(!水辺に親しむイベントを実施)
まちづくり交付金	国土交通省 都市・地域 整備局	市町村が作成した都市再生整備計画に基づき実施される事業費用を支援、市町村の裁量によるハード・ソフト事業を展開	地方自治体 (補助金)	http://www.machikou-net.org/index.htm	「災害時の避難路確保及び物資等の輸送路確保」ぼうさいの丘公園周辺地区(神奈川県厚木市)(!防災啓発活動、ボランティアコーディネート養成など、ソフト支援を実施)

注 5)今後、内容の検討・充実化を図っていくこととしており、中間段階での整理を提示している。

表 10 国の支援策(一部)(つづき)

支援策名	支援主体	支援内容	支援対象 (支援形態)	アドレス	活用事例
「出前講座」 国土交通省	国土交通 省	地域の要請に応じ、国土交通省が行う事業や施策について講座を実施	公共性・公益性のある 団体・機関等(講師派遣)	http://www.mlit.go.jp/delivery_lecture/delivery_lecture.html	
現代的教育 ニーズ取組 支援プログラム	文部科 学省	各種審議会からの提言等、社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を行い、特に優れた教育プロジェクト(取組)を選定し、財政支援を行うことで、高等教育の活性化を促進。	研究費助成		「短期大学を拠点とした地域防災活動の推進」(日本赤十字武蔵野短期大学)

表 11 NPO、財団法人、社団法人、企業の持つ支援策リスト（一部）（未定稿）

支援策	アドレス	支援内容
地域社会プログラム (トヨタ財団)	http://www.toyotafound.or.jp/shimin.html	基本テーマ「地域社会の再構築を目指して-支え合うくらしといのち-」のもと市民活動助成と活動成果普及助成を実施
環境市民ボランティア活動助成制度 (セブン-イレブンみどりの基金)	http://www.7midori.org/josei/koubo.html	環境をテーマにした環境 NPO 法人や環境市民ボランティア団体に対し 4 分野（活動、育成、事業、パートナーシップ）において助成
住まいとコミュニティづくり活動助成 (ハウジング・アンド・コミュニティ財団)	http://www.hc-zaidan.or.jp/promotion/promotion.html	住まいづくり・まちづくり分野の NPO・市民活動団体を助成するプログラム
青少年育成に関する NPO 助成事業 (株)日本たばこ産業)	http://www.jti.co.jp/JTI/contribution/npo/index.html	「青少年の育成」をテーマとした、分野を問わない助成プログラム
フィリップモリスジャパン市民活動～住民活動助成 (株)フィリップモリスジャパン)	http://www.civilfund.org/	地域社会の課題を解決し、地域に暮らす人たちが共に安心して生活を送れるコミュニティづくりを支援する助成プログラム
マイクロソフト NPO 支援プログラム (株)マイクロソフト)	http://www.microsoft.com/japan/mscorp/citizenship/ca/npo/	IT を活用した NPO・市民活動助成プログラム
中央労金助成プログラム (中央ろうきん社会貢献基金)	http://www.rokin-ikiiki.com/kouken/j-proguram2005.html	関東 1 都 7 県を対象にした市民活動支援プログラム
公募による市民活動団体への活動資金の助成事業 (NPO 法人モバイル・コミュニケーション・ファンド)	http://www.mcfund.or.jp/jyosei01.html	「子どもを守る」をキーワードに様々な取り組みをしている市民活動団体を助成
人材派遣プログラム (NPO 法人日本都市計画家協会)	http://www.mmjp.or.jp/jsurp/	優れたまちづくり活動企画の実践活動のために必要な専門家と資金を助成
地球環境基金助成金(独立行政法人環境再生保全機構)	http://www.erca.go.jp/jfge/index.html	草の根の環境保全活動を支援する助成プログラム

3-5. 【防災まちづくり道具箱】のページ構成

- ・防災まちづくりを進める上で知っておくと役に立つトピックを紹介する。

[ITを活用したコミュニケーションツール]

GISを活用し、マップづくりを行いたい

- ・カキコマップ

リンク（都市計画協会）

<http://www.tokeikyuu.or.jp/bousai/com/kakiko-P1-01.htm>

- ・WEBGIS（豊中市地図情報提供サービス）

リンク（豊中市）

<http://web02.city.toyonaka.osaka.jp/gis/mainmenu.asp>

[実の回りの危険に備えたい] ・危険度チェックを行うソフトの紹介

地域の危険度を調べる

地震時の火災延焼危険度を調べる

- ・火災延焼シミュレーションソフトを紹介

リンク（防災まちづくり支援システム（都市防災推進協議会））

<http://www.toshibou.jp/torikumi/sien.html>

土砂災害の危険度を調べる

- ・土砂災害に対する防災力を自己診断するツールを紹介

リンク（土砂災害に対する地域防災力の診断（内閣府））

<http://www.bousai.go.jp/dosha/shindan/>

災害時要援護者を調べる

- ・災害時要援護者登録制度を持つ、豊田市の取り組みを紹介

リンク（豊田市災害時要援護者 支援体制の整備について（豊田市））

<http://www.bousai.go.jp/oshirase/h16/041214giji/1-2toyota.pdf>

身近な生活環境の危険度を調べる

- ・耐震補強（家具、ブロック塀等）の方法の解説を紹介

リンク（静岡県耐震ナビ 耐震補強について）

<http://www.taishinnavi.pref.shizuoka.jp/>

- ・地域の危険についてチェックするポイント、調査の進め方を解説

地域の安全マップを作ろう（あしたの日本を創る協会）

<http://www.ashita.or.jp/index.htm>

我が家の耐震性をチェックする

- ・自らの家の簡易な耐震診断解説など、知っておくべき知識を紹介

リンク（【5．住宅の耐震化】）

[防災に関する知識を得たい]

- ・ 地域の要請に応じ、国土交通省が行う事業や施策について講座を実施
国土交通省「出前講座」(国土交通省)

http://www.mlit.go.jp/delivery_lecture/delivery_lecture.html

[専門家の応援を受けたい]

- ・ 市町村の相談窓口、「耐震診断、耐震改修を実施する建築士事務所」一覧、耐震化に関するQ&A等を紹介様々な専門家の相談窓口を紹介

わが家の耐震診断相談・支援コーナー(日本建築防災協会)

<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/sindan/sindanNEWS.htm>

- ・ 耐震性に問題があるマンション等の建て替え相談

マンション建て替え相談(再開発コーディネータ協会)

<http://www.urca.or.jp/index2.htm>

<参考：カキコマップ>

・地図上にネットを活用して自由に書き込むことができる。

図5 カキコマップに書き込む前の地図



図6 カキコマップに書き込んだ後の地図



図7 カキコマップに記入された写真

・記入された記録はネット上で自由に見ることができる。



3-6. 【子どもと一緒に】のページ構成

- ・防災まちづくりの未来の担い手である子ども達と防災まちづくりを考えるヒント、きっかけになる資料を提供。

[防災まちづくり学習]

紙芝居

【4. 「稲むらの火」と津波防災】とのリンク

防災まちづくり学習

- ・ (社)再開発コーポレタ協会による防災まちづくりのガイドブック紹介

<http://www.urca.or.jp/index2.htm>

[防災教育]

- ・ 防災教育の実践例を紹介、子どもの防災教育の参考にする。

防災教育チャレンジプラン（防災教育チャレンジプラン実行委員会）

<http://www.bosai-study.net/guide.html>

子どもぼうさい甲子園（毎日新聞）

<http://www.mainichi.co.jp/osaka/bousai/news/0130-1.html>

ぼうさい探検隊マップコンクール（（社）日本損害保険協会）

<http://www.bosai-study.net/guide.html>

3-7. 【交流の広場】のページ構成

- ・防災まちづくりの担い手が情報交換・交流を行う場を提供する。防災フェアに併せて行われる交流会とも連携する。

[テーマ別防災まちづくり掲示板]

- ・様々なテーマで、防災まちづくりについて話しあう場を、掲示板を活用して設ける。
(必要に応じて、ブログの導入も検討)

地震対策

- ・地震対策に役立つ防災まちづくり活動の情報交流

津波対策

- ・津波対策に役立つ防災まちづくり活動の情報交流

風水害対策

- ・風水害対策に役立つ防災まちづくり活動の情報交流

[質問コーナー]

- ・防災まちづくりに関する質問を受けつけ、回答

「全国防災まちづくりフォーラム(仮称)」

- ・防災フェア開催にあわせて、全国の防災まちづくりの担い手が集まる交流会を実施。この交流会の情報を発信する場を設ける。

3-8. 総合検索のページ構成案の例

- ・複数のキーワードで、事例を総合検索できるページを設ける。

防災まちづくり活動組織

・これは『防災まちづくりの活動組織の概要』に関する情報を記録するデータベースです。

■ 全文検索 ■

検索文字をSPACEで区切って入力。

■ データを新しく追加します ■

*活動主体者名	
活動内容の概要紹介	
活動地区名	
活動地域の特徴	広域な地域 <input checked="" type="checkbox"/>
想定する災害	<input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 津波 <input type="checkbox"/> 火山 <input type="checkbox"/> 水害
災害対策の例	<input type="checkbox"/> 建物耐震化 <input type="checkbox"/> 不燃化対策 <input type="checkbox"/> 啓発活動、情報共有 <input type="checkbox"/> 帰宅困難者対策 <input type="checkbox"/> 防災教育 <input type="checkbox"/> 避難対策
活動の分類	広域的レベル <input checked="" type="checkbox"/>
細目	<input type="checkbox"/> 普及啓発 <input type="checkbox"/> 情報共有・発信 <input type="checkbox"/> 防災リーダーの育成 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 災害時要援護者支援 <input type="checkbox"/> 専門家による技術支援 <input type="checkbox"/> 防災訓練 <input type="checkbox"/> 地区の現状(危険度)把握 <input type="checkbox"/> 地区防災計画の検討・策定 <input type="checkbox"/> 防災施設建設 <input type="checkbox"/> 子供の教育・啓発活動 <input type="checkbox"/> 災害時要援護者の支援 <input type="checkbox"/> 人材の育成 <input type="checkbox"/> 防災による地域活性化 <input type="checkbox"/> 帰宅困難者支援対策 <input type="checkbox"/> 防犯活動
主体の分類	企業系NPO <input checked="" type="checkbox"/>
支援制度分類	<input type="checkbox"/> 制度不要 <input type="checkbox"/> 助成金の活用 <input type="checkbox"/> 人材派遣制度の活用 <input type="checkbox"/> 社会実験の実施
細目	<input type="checkbox"/> 会費等 <input type="checkbox"/> 財団等による助成金の活用 <input type="checkbox"/> 市町村の助成 <input type="checkbox"/> 市街地整備の事業補助金 <input type="checkbox"/> まちづくり支援事業 <input type="checkbox"/> 人材派遣 <input type="checkbox"/> 県、国の支援制度
詳細	http://
編集/パスワード	パスワードを入力しましょう。

[Home] << Top 前はなし (1-3 / 全3件) 次はなし Last >>

編	活動主体者名	活動内容の概要紹介	活動地区名	活動地域の特徴	想定する災害	災害対策の例	活動の分類	細目	主体の分類	支援制度分類	細目	詳細	訂正	
	NPO・FUSION長池	NPO・FUSION長池は、多摩ニュータウン西部の長池公園を中心に、住民の暮らしを様々な角度から支援することを目的に活動を行っているNPO(特定非営利活動法人)です。地域活性化支援、住宅管理支援、住まい作り支援、高度情報化支援、地域広報支援などに取り組んでいるほか、2001年7月からは八王子市より委託を受けて、八王子市長池公園自然館(長池ネイチャーセンター)の管理運営を行っています。地域住民の様々な活動に役立つ施設となるよう管理運営していく決意です。	長池公園を中心	広域な地域		建物耐震化	広域的レベル	普及啓発	企業系NPO	制度不要	市町村の助成		<input type="button" value="訂正"/>	
	特定非営利活動法人日本公開庭園機構	国立市では、大学通りとのシンボリックな緑地空間を軸に、市域の緑を守る取り組みを積極的に進めていた。そこに協力いただいたのが、NPO法人日本公開庭園機構であった。国立市都市計画マスタープラン、国立市緑の基本計画の策定作業を通じて、安全緑地整備を実現しようということになり、市内に安全緑地を設置することとなった。これ以外にも防災ボランティアの組織化などについても協力をしていた。機構の理事は元々、住宅デベロッパーにおり、その頃から環境共生の仕組みを組み込んだ住宅づくり、まちづくりを進めていた。イギリスでの観察体験が核となって、ガーデニングを切り口として、一般の人たちが、身近な環境の緑化に関わっていく方策として、安全緑地という考えにたどりついた。安全緑地とは民地の一部を公開空地として提供することにより、防災、環境、景観、など、様々な面から地域の環境改善を実現するもの。大工、植木職人、建築家など、様々な専門家の協力により、実際に安全緑地を設置・整備する取り組みを進めている。活動を継続してきて分かったことは、ガーデニングに対しては身近な市民の関心が高まっていることである。最近、近所の主婦方がこのような活動に参加する輪が広がっている。成城学園では、住宅展示場の整備を行うにあたって、土地の一部を提供頂き、様々な企業からの支援を受けて、安全緑地を整備した。日本公開庭園機構では、国立市に働きかけ、安全緑地整備を委託整備で行い、また、その後も、安全緑地を推進するため国立市からの委託を受け、ガーデン相談会・講習会を実施している。また、成城住宅展示場内に整備された「安全緑地見本園」については、環境事業団による補助(240万円)だけでなく、10社を超える企業の支援を受け、安全緑地整備を行っている。このように、行政・企業とのコラボレーションは、今後の防災まちづくりに寄与する面が大きい。	東京都国立市	広域な地域	地震	建物耐震化	広域的レベル	普及啓発	住民系NPO	制度不要	会費等		<input type="button" value="訂正"/>	
	大水崎自主防災組織	和歌山県串本町は、本州の紀伊半島の最南端の海岸にある町で、風光明媚な町である。三方向を海に囲まれ、津波被害を受けやすいところから、避難路整備の取組みが始まった。潮時が大平洋に突出し、紀伊半島と低い砂丘で地べたれた地域に町の中心があり、三方を海に囲まれた上、海岸の狭い崖下の土地を埋め立て、街を造成している。その埋立地にあるのが、大水崎地区である。1983(平成5年)7月、北海道南西沖地震が発生し、奥尻島をはじめ渡島半島各地が津波に襲われ大被害を受けた。同島と似たような地形からこの災害を人ごとではなかった町民は多く、串本町青年会議所が奥尻町長の被災報告講演会を翌年12月に開催した。この講演を聴き、住民は大きな危機感を持った。土地のほとんどが海拔3メートル以下で津波の被害をまともに受ける危険があるにもかかわらず、短期間で高台に避難できる通路がなかったからである。このような経緯から、住民の発意により、避難路が作られることになった。	和歌山県串本町	住宅系既成市街地	津波	不燃化対策	地区・都市レベル	防災施設建設	住民防災組織	制度不要		市町村の助成		<input type="button" value="訂正"/>

[Home] << Top 前はなし (1-3 / 全3件) 次はなし Last >>

[HeRO Data Base Ver 1.26 [Thanks. KENT]

35

防災ポータルサイトの出力イメージ

防災まちづくりポータル サイトへようこそ

[【防災まちづくりの拡がりへの期待】～内閣府から皆様へ～](#)

トピックス

- ・[ITを活用したコミュニケーションツール](#)
- ・[全国防災まちづくりフォーラム\(仮称\)](#)



[「防災まちづくり」とは何？](#)

ここから始めてみよう防災まちづくり。



[事例のご案内](#)

防災まちづくりの具体的なイメージを持てるよう、先進事例を紹介。



[支援策のご案内](#)

具体的な適用例も含め、支援制度を整理し、何に役立つ制度なのかが分かるように構成。



[防災まちづくり工具箱](#)

初心者から防災まちづくり専門家まで、幅広い層に必要とする情報を紹介。



[子どもと一緒に](#)

防災まちづくりを子供と一緒に進めるための材料を紹介。



[交流の広場](#)

防災まちづくりに参加している方々、様々な情報交流や質問などを通じて、交流する場を提供。

[総合検索](#)

複数のキーワードを使って事例、支援制度全体を横断的に検索する



[関連リンク](#)



[問い合わせ先](#)

【防災まちづくりの拡がりへの期待】

～ 内閣府から皆様へ～

災害への備えには、自助、共助、公助の適切な連携・組み合わせが必要です。行政の取組みはもちろんですが、社会の構成員が全員で取り組む必要があります。実際、阪神・淡路大震災では、要救助者35,000人の内約8割が家族や近隣者により救出されたと言われ、地域での助け合いが不可欠なのです。

近年、地域の諸団体、NPO等の防災まちづくり活動が拡がりを見せていますが、防災を主目的として始まったものではない地域の活動が、あるきっかけで防災への関心を高めた例も少なくありません。そこで、このポータルサイトは、活動の事例やお役立ち情報をそろえ、防災活動の幅を広げるためにも、あるいは新たに防災に取り組むためにも役立ちたいと考えています。

皆様の力で安全・安心なまちづくりを進めるため、防災まちづくりポータルサイトを是非ご活用ください。

目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・
内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり道具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

[問合せ先](#)

防災まちづくりとは何？

～ここから始めてみよう防災まちづくり～

[まず、最初に]

- ・ **学ぶ** まちをつくる前に、自分のまちを知らなければ始まりません。
- ・ **調べる** まちをつくるために、必要な情報は集めなければなりません。

[日頃からの心がけ]

- ・ **付き合う** 日頃から付き合っていないと、いざという時に助け合うのは難しいものです。
- ・ **連携する** いざという時に、様々な組織が力を合わせる必要があります。
- ・ **訓練する** 体が覚えていなければ、いざという時に使えません。
- ・ **交流する** お互いを励ましあうことは、お互いの活力を保つために有効です。
- ・ **啓発する** 自分が学ぶだけでなく、他人が学ぶお手伝いをすることも大切です。
- ・ **広報する** 人に知られていればこそ、協力もあり、援助も出てきます。
- ・ **発信する** 情報発信ツールを活かすことで、防災まちづくりは一段と活発さを増します。

[何かを生み出す]

- ・ **計画を作る** 多くの人を巻き込み、成果を上げるには、活動の計画を練ることが一番です。
- ・ **施設を作る** 何らかの施設を作り、それを全員で活用することは素晴らしいことです。
- ・ **管理する** 施設を持ち、運営に使える活動では、施設の管理も行わなければなりません。

目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり工具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

[問合せ先](#)

事例のご案内

防災まちづくりの具体的なイメージを持てるよう、先進事例を紹介。

分類

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり道具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

[問合せ先](#)

活動対象とする市街地の分類

市街地の分類	大都市圏 注1)	地方都市圏 注2)	
都市より広域的な地域	NPO法人都市防災研究、NPO法人東京いのちのポータルサイト、帰宅難民の会、NPO法人ユニバーサルデザイン・ステップ、横浜市建築士会	NPO法人豊前の国建設倶楽部、災害ボランティアコーディネータ西部連絡会、NPO法人ながおか生活情報交流ネット、静岡県建築士会	
	NPO法人日本防災士機構（全国的な拡がり）		
業務系市街地	東京駅周辺防災隣組(千代田区) 、旧居留地連絡協議会防災委員会(神戸市)	なし	
商業系・商住複合市街地	早稲田商店街(新宿区) 、 目白まちづくり倶楽部(豊島区) 、戸越1・2丁目地区まちづくり懇談会(品川区)、ぼうけん会(北区)、清水安全・安心まちづくり実行委員会(京都市)、春日住民福祉協議会(京都市)	高知NPO(高知県奈半利町)	
住宅系	既成市街地	目白まちづくり倶楽部(豊島区) 、 平塚防災まちづくりの会(平塚市) 、江東区の水辺に親しむ会(江東区)、練馬区防災住民組織心のあかりを灯す会(練馬区)、一寺言問を防災のまちにする会(墨田区)、大和地区「防災を考えるつどい」(愛知県西枇杷島町)、 市民防災まちづくり学校(国分寺市) 、防災ピクト研究会(京都市)	大水崎自主防災会(和歌山県串本町) 、大岩二丁目自主防災会(静岡県静岡市)、八代環境パトロール隊(熊本県八代市)、有珠山噴火・避難者支援の会(北海道伊達市)、安全・安心まちづくりポスター(愛知県春日井市)、桜島友の会(鹿児島市)、水害語りべ教室(岩手県北上市)、NPO法人防災ネットワークうべ(山口県宇部市)
	新市街地(ニュータウン等)	多摩田園都市防災まちづくり協議会(横浜市等)、 NPO法人フュージョン長池(多摩市) 、北須磨団地自治会(神戸市)	

目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり道具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

[問合せ先](#)

想定する災害の分類

想定する災害の分類	防災まちづくりの例
地震	建物耐震化対策(耐震技術勉強会、耐震診断、公開耐震化工事、など)
	市街地環境の不燃化対策(避難路の整備・維持管理、防災公園の整備・維持管理、など)
	住民対応力の強化(災害時要援護者支援、啓発活動、情報共有、など)
	帰宅困難者(訓練、など)
津波	防災教育(防災キャンプ、総合学習の活用、絵本、防災カルタ作成、など)
	避難対策(避難計画策定、避難路整備・管理、など)
	住民対応力の強化(災害時要援護者支援、啓発活動、情報提供など)
火山	防災教育(総合学習の活用、紙芝居、影絵、など)
	避難対策(避難計画の策定、など)
	住民対応力の強化(啓発活動、情報共有、など)
水害	防災教育(総合学習の活用、など)
	住民対応力の強化(災害時要援護者支援、啓発活動、情報共有、など)

目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり道具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

[問合せ先](#)

活動の内容による分類

活動の分類		防災まちづくり活動の例
都市を超えた広域的 防災まちづくり活動	防災情報・技術の普及・啓発	シンポジウム、講習会、防災関連技術の展示 等
	防災情報の共有・発信	ポータルサイトの構築、BLOGによる情報共有、情報リンク集の運営 等
	防災ボランティアのネットワーク化、リーダー育成	防災まちづくりリーダーやコーディネータ育成、ボランティア団体、企業とのネットワークづくり
	過疎地域での広域連携による災害時 要援護者の支援	行政域を超えた合同訓練、過疎地高齢者の避難訓練
	専門家ネットワークによる技術支援	耐震診断研修、耐震
地区～都市レベル での防災まちづくり 活動	防災	起震車による地震体験シミュレーション、救助犬の参加訓練、消化訓練、炊き出し、トリアージ訓練、防災無線活用訓練、救助活動訓練
	地区の現状(危険度)把握	地域危険度を把握する街歩き調査、図上訓練、危険場所を示す地図の作成
	地区防災計画の検討・策定	地区防災計画の検討・策定
	住民による防災施設づくり	路地尊の整備
	子供の教育・啓発活動	防災教育(防災キャンプ、総合学習の活用、絵本、防災カルタ作成 など)
	災害時要援護者の支援	地域の見守り活動(お年寄りのお宅訪問、見守り など)
	人材の育成	防災まちづくりリーダーやコーディネータの育成(研修会、講習会など)
	防災をテーマに取込んだ地域活性化	震災疎開パッケージ、防災グッズや防災技術の啓発 など
	帰宅困難者支援対策	帰宅困難者避難訓練 、市民救命士の養成 など
	防犯活動	防犯パトロール など

目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり道具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

[問合せ先](#)

組織の特徴による分類

防災まちづくり主体の分類		組織の例
既往の地域組織	商工系	商店街振興組合など
	自主防災組織	自主防災会、自治会など（自主防災組織が連合するケースも含む）
	その他	PTA、消防団、学校等
任意の組織	企業系	
	住民系	
NPO	企業系	企業町内会など
	住民系	まちづくりNPOなど

目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり工具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

[問合せ先](#)

活用した支援制度の有無・内容による分類

	活用した支援制度	
支援制度を活用	助成金の活用	財団、専門家組織による助成金の活用
		市町村のNPO等活用支援制度による助成
		市街地整備に関するハード事業補助金の活用
	県、国レベルのソフトなまちづくり支援事業の活用	
支援制度を活用	人材派遣制度の活用	財団、専門家組織による人材派遣
		市町村のNPO等活用支援制度による人材派遣
		市街地整備に関するハード事業による人材派遣
支援制度は活用していない	社会実験の活用	国、県レベルの支援制度の活用
		会費等による資金の確保

目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり道具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

[問合せ先](#)

活動段階別ニーズによる分類

活動段階	ニーズ
初動期	防災に関する基礎知識をつけたい
	専門家と協力関係を作りたい
	まちのどこが危険かを知りたい
	防災訓練を活発にしたい
充実期	防災への関心を高めたい
	仲間と協力して防災まちづくり組織を立ち上げたい
	防災まちづくりの担い手を増やしたい
	目に見える防災まちづくりの成果を上げたい
発展期	幅広く、活動内容を広報したい
	広域的な交流をしたい
	防災にも役立つコミュニティビジネスをしたい
	新たな技術を活用して、地域の防災力を高めたい
	防災施設の維持・管理を担いたい

目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり工具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

[問合せ先](#)

支援策のご案内

防災まちづくりを手助けする支援制度を紹介。

支援対象別

個人、任意組織、NPO、財団法人、社団法人、地方自治体

支援内容別

相談、人材派遣、事務局機能支援、技術支援、助成、融資

支援主体別

適応対象、地域対象

支援策活用にあたっての留意事項

目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・
内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり道具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

[問合せ先](#)

防災まちづくり道具箱

初心者から防災まちづくり専門家まで、幅広い層に必要とする情報を紹介。

身の回りの危険に備えたい

・地域の危険度を調べる

地震時の火災延焼危険度を調べる

土砂災害の危険度を調べる

災害時要援護者を調べる

家具転倒等、身近な生活環境の危険度を調べる

・家の耐震性をチェックする

防災に関する知識を得たい

専門家の応援を受けたい

日本建築学会

再開発コーディネーター協会

NPO日本都市計画家協会



カキコまっぷ

(1)地図上に書き込みが可能です。

カキコまっぷのベース地図が以下のようにあります。 [次へ](#)





カキコまっぷ

(1)地図上に書き込みが可能です。

下図に示すように、地図上に様々な情報を掲示板のように書き込むことができます。 [次へ](#)



目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり道具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

[問合せ先](#)

子どもと一緒に

防災まちづくりを子どもと一緒に進めるための材料を紹介。

防災まちづくり学習

[紙芝居（稲むらの火）](#)

[防災まちづくりのガイドブック紹介](#)

防災教育

[防災教育チャレンジプラン](#)

[子どもぼうさい甲子園](#)

["ぼうさい探検隊"マップコンクール](#)

目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり工具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

問合せ先



2005年度 防災教育チャレンジプラン募集 & ワークショップ開催

2005年度防災教育チャレンジプラン募集を締め切りました。
多数のご応募ありがとうございました。
2005年2月27日(日)ご応募いただいたチャレンジプランの
中からプランを選出し、内容を発表致します。

～ 第2回防災教育チャレンジプラン ワークショップ開催のご案内 ～

2004年度チャレンジプランの成果発表・表彰
2005年度チャレンジプランの決定・発表

第2回防災教育チャレンジワークショップ
開催のご案内はこちら<参加は無料です>

- ▶ 防災教育チャレンジプランとは ▶ お問合せ
- ▶ 防災教育チャレンジの流れ
- ▶ 防災教育チャレンジプラン募集概要
- ▶ ワークショップ参加申し込みメールフォーム
- ▶ ワークショップ参加申し込みFAXフォーム (PDF)

目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり道具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

[問合せ先](#)

Mainichi
NEWSPAPERS



子どもぼうさい甲子園

▶まいど!! 大阪 ▶各地の毎日新聞



新聞記事から

●表彰式・発表会 / その1

安全な街、僕らが作る 思いやりの心、みんなで

学校や地域で防災教育に取り組んでいる子どもたちを顕彰する「子どもぼうさい甲子園」(同実行委員会主催)の表彰式・発表会が今月8日、神戸市中央区のシーガルホールで行われた。「ぼうさい大賞」に輝いた千葉県市川市立大野小学校など11団体が表彰され、多彩な取り組みを発表。会場には、井戸敏三・兵庫県知事ら約300人の聴衆が詰めかけた。【中尾卓英、根本毅、大場弘行、写真・三村政司】

「減災文化」創造訴え

次世代を担う小中学生の防災教育の取り組みを募集。26都道府県の87学校・グループから、地域の課題に応じた応募があった。8人の審査委員(委員長、河田恵昭・人と防災未来センター長)の選考で、ぼうさい大賞1点、優秀賞3点、入選5点、審査委員特別賞2点が選ばれた。

表彰式・発表会で、実行委員でもある伊藤芳明・毎日新聞大阪本社編集局長が「みなさんの取り組みは、大人には考えられない視点、アイデアにあふれている。子どもたちが考えたことを発信し、社会で役立てていきたい」とあいさつ。阪神大震災を題材にしたNHK連続テレビ小説「わかば」の主演女優、原田夏希さんも駆けつけ、賞状と副賞を手渡した。

発表会で、受賞校の代表の子どもたちが取り組み内容を披露。歌や劇、紙芝居などを通じて、命の大切さや助け合う心を訴えた。震災で生まれた歌「しあわせ運べるように」を作詞作曲した臼井真さんの指揮で合唱。会場は感動の渦に包まれた。

スマトラ沖大地震 新潟県中越地震など国内外で自然災害が相次いでいる。実行

新聞記事から

- ・表彰式・発表会 / その1 安全な街、僕らが作る 思いやりの心みんなで
- ・表彰式・発表会 / その2 止 楽しみながら「備え」伝えたい 人の役に立って笑顔届けたい
- ・苦しむ子らに笑顔と希望を 支え合う心、世界中へ - - 発表会
- ・「子どもぼうさい甲子園」受賞団体決まる
- ・高知市立大津小と愛知県豊橋市立津田小の取り組み

選考委員・選考基準

- ・募集要項

目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり道具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

[問合せ先](#)

交流の広場

防災まちづくりに参加している方々が
様々な情報交流や質問などを通じて、交流して頂く広場。

テーマ別防災まちづくり掲示板

- ・地震対策
- ・津波対策
- ・風水害対策

質問コーナー

全国防災まちづくりフォーラム（仮称）

目次

[TOP](#)

[防災まちづくりとは何？](#)

[事例のご案内](#)

[活動対象とする市街地の分類](#)

[想定する災害の分類](#)

[活動の内容による分類](#)

[組織の特徴による分類](#)

[活用した支援制度の有無・内容による分類](#)

[活動段階別ニーズによる分類](#)

[支援策のご案内](#)

[防災まちづくり道具箱](#)

[子供と一緒に](#)

[交流の広場](#)

[総合検索](#)

[リンク](#)

[問合せ先](#)

リンク

(国)

[首相官邸](#)

[気象庁](#)

[国土交通省・防災情報](#)

[地震予知連絡会](#)

[総務省](#)

[消防庁](#)

[警察庁\(全国\)](#)

[文部科学省](#)

[国土地理院](#)

など

(大学等)

[東京大学地震研究所](#)

[京都大学防災研究所](#)

(独) 陸上科学技術研究所

「みんなで防災」のページ (内閣府防災担当)

(たたき台)

このページは、市民、学校、企業、町内会、ボランティア、NPOなどの方々が、防災の取組を考えていただく際、お役に立つ情報やノウハウを提供させていただくページです。

(順不同)



防災ボランティア

災害時や災害に備えたボランティア活動のサポート情報を掲載



防災まちづくり

市民、町内会、商店街、NPO等の方々の地域に根ざした取組



企業防災

事業継続・企業の取組の評価



住宅耐震化



「稲むらの火」と津波対策

世界にも知られている実話に基づいた津波から村人を救った物語



防災教育と広報

学校や地域活動での防災の教育広報の取組



防災対策の基本を知りたい

わが国政府や地方自治体の防災対策を解説。広報資料も。

その他項目検討中

防災まちづくりワーキング
調査スケジュール (2005/4/21)

番外ワーキング

N P O 江東区の水辺に親しむ会 (平成17年5月17日13:00)

モデル地区調査 (予定)

串本町大水崎地区 (和歌山)

防災まちづくり学校 (東京都国分寺市)

高山市防災計画策定委員会 (岐阜)

N P O 法人豊前の国建設倶楽部 (大分)

